

ガーナ VCT センター調査報告書

[ファクトシート 事例集]



平成 19 年 11 月

独立行政法人 国際協力機構

JICA 序文

青年海外協力隊OBの皆様方が組織した、都市計画・建築関連分野のOB会である、NPO法人『都市計画・建築関連OVの会：通称EVAA』の活躍は目覚しく、青年海外協力隊やシニア海外ボランティアの派遣を通じて国民参加型協力を推進する青年海外協力隊事務局としては大変心強い限りです。

世界でエイズ問題が深刻化する昨今、協力隊事業としてもエイズ対策隊員を派遣するなど、その分野での貢献を進めて参りました。特にアフリカ地域での協力を重点的に行う中で、その問題が深刻でありながらも未だプライバシーや心地よい環境といった観点が広く行き渡っていないために、人々がエイズ感染の状態を調べるためのエイズの感染検査センターに安心してアクセスできないという状況がありました。その状況に、建築的な視点から施設改善を行い施設へのアクセス改善を目指そうとする新しい試みが、2006年春、JICAとEVAAとの協力の下に踏み出され、シニア海外ボランティアとしてEVAAの5名の方々をケニアに派遣するに至りました。ケニアでの活動実績は「ケニアVCTセンター調査報告書」としてまとめられ、翻訳版が隊員の活動地で使われ経験が普及するという成果に結びつきました。

この第1回目ケニア調査での気づきから、アフリカと一括りにいえども国・地域・文化・気候・宗教による違いから、どのような環境がクライアントの安心につながるのか、とりわけプライバシーに配慮した施設環境を追求することを目的に、アフリカ数ヶ国での調査を提案しました。そしてケニアでの調査に引き続き、第2回目の調査地として、JICA 専門家およびエイズ対策隊員が多く活動するガーナで実施することとなりました。本報告書は、ケニア報告書での結果を踏まえ、ガーナでの活動の成果をまとめられたものです。

JICAとしては青年海外協力隊やシニア海外ボランティアのOB/OGと手を組み、より国際協力の多様性を模索して行きたいと考えています。今回ご協力頂いたEVAAの皆様方におかれては、青年海外協力隊として派遣されていた期間中のみならず、日本に帰国しそれぞれの生活に就いた後も、JICAと密に連絡を取って下さり、結果、このように非常に充実した立派な報告書をまとめて頂いたことに深い謝意を表するとともに、今後、この示唆に富む事例をJICAボランティア派遣中の各国で、是非とも積極的に共有したいと考える所存であります。

平成19年12月
独立行政法人国際協力機構
青年海外協力隊事務局長 大塚正明

EVAA はしがき

アフリカ諸国において 1980 年代後半から急激に広がるエイズ発症事例に対し、各国は HIV/エイズを国家的災厄とし、国家事業としてその撲滅に取り組んでいる。

そして、わが国は、アフリカ HIV/エイズ対策へのもっとも重要な支援として、VCT(Voluntary Counseling and Testing：自発的なカウンセリングと検査)センターへの協力事業を行っているが、その一環として、第一回は平成 18 年 3 月 7 日から 4 月 8 日まで、国際協力機構 (JICA) シニア海外ボランティアとして、当会より 5 名の建築家がケニアへ派遣された。第二回の今回は平成 19 年 3 月 19 日から 4 月 19 日まで、前回同様 JICA シニア海外ボランティアとして、当会より 3 名の建築家がガーナに派遣された。

派遣の目的は、第一回のケニアと同様、既存の VCT センターについて、施設計画における調査、評価、提言を行うことであった。とりわけ、施設のカウンセリングルームや待合室などの平面計画、構成、仕様について、「クライアントの視線」に立ち、プライバシー、心理的安心感といった観点で、既存状況を分析、評価することが求められた。

調査団員は、当会からの 3 名に加え、短期ボランティア派遣による 1 名 (コーディネーター業務担当) の合計 4 名に、その各地で活動中のエイズ対策隊員を加えて、23 ヶ所の VCT センターを訪問し、実測、撮影、聞き取り調査し、その際、現地カウンセラーとともにその場で出来る改善策を考え、共同で実施した。

帰国後、特徴的な 16 の VCT センターでの活動を選択し、施設の現状、特徴を分析、評価した上で、改善への提言や具体例をまとめたのが本報告書である。調査を行った全ての VCT センターを対象にした基礎資料としての報告書を別途まとめる機会もあろうかと考えるが、まずは短期間の派遣で得られた VCT の現状と、それらに対する建築的視点からの助言、作業内容を「ファクトシート 事例編」として示すこととした。

本書が、昨年の「ケニア VCT センター報告書」と共に、わが国のアフリカにおける HIV/エイズ対策への効果的な基礎資料として、VCT センターサービスの改善と強化に多少なりとも寄与できれば望外の喜びである。

最後に、本活動にかかるガーナ派遣の機会をいただいた青年海外協力隊事務局(JOCV)、ガーナ側での受け入れと訪問先などの手配にご尽力いただいた JICA ガーナ事務所、事前に VCT センターの情報提供とともに声援を下された JICA 竹中専門家と JICA 人間開発部感染症チームの皆様、訪問先の JOCV 隊員とカウンセラーの皆様、ガーナ保健省関係者の皆様に対して、ここに深く御礼を申し上げます。また、本報告書のとりまとめ費用は、EVAA 会員による寄付で主に賄ったことも併せてお知らせするとともに、ここに感謝の意を表したい。

平成 19 年 11 月

特定非活動営利法人 都市計画・建築関連 OV の会 **EVAA**

(Ex-Volunteers Association for Architects)

理事長 今村 文明

NPO 法人 都市計画・建築関連 OV の会 EVAA < Ex-Volunteers Association for Architects >

青年海外協力隊(JOCV)の隊員 OB、OG の職種別組織。建築設計、都市計画、地震学など、幅広い意味での建築、都市計画関連分野の有志により「JOCV 職種別 OV 会」として 1998 年に設立され、2002 年には NPO 法人となって現在に至る。OV は OB、OG の総称。

1965 年から始まった青年海外協力隊の派遣事業において、建築、都市計画に関連した分野での OV は総勢 600 名以上にのぼる。

当会会員も、20 代から 60 代までの幅広い年齢層にわたり、その中心は一級建築士などの国家資格を持ち、建築設計、コンサルタントなどの職に就く「プロ」の集団である。

それでも、現在は、建築関連の専門 OV だけにとどまらず、多様な専門性を持つ 150 名余りの会員で構成されている。

これまでに、モンゴル、ブータン、モロッコ、エチオピアなどに派遣された隊員に対して技術支援を行ってきたほか、JOCV 技術顧問の派遣、在外大使館への設計監理者の派遣、建築隊員活動事例を調査しての提言書作成、公益助成金での出版活動を行ってきた。

2005 年の「愛・地球博」では、日本トイレ協会との連携で、「トイレ探検館」を出展した。

さらに、国際協力フェスティバル、アフリカンフェスタなどの催しには毎年積極的に参加し、会の広報、他機関との意思疎通を図っている。

そして 2006 年 3 月には、JICA シニアボランティアとして会員 5 名を派遣し、ケニアの HIV/AIDS 対策のための施設に対して建築の面から調査・アドバイスを行った。それに続き、2007 年 3 月には、ガーナでも実施され、本報告書の発行にいたった。

専門知識と協力隊活動での知見も加えたこの 40 年間の蓄積を用いて、途上国に対する協力や現在派遣されている隊員の方々への支援に生かすとともに、広く国際社会へ役立たせるために、草の根の市民団体として、世界との交流を広げていくことを目指している。

URL: <http://www.evaa-japan.com/>

E-mail: info@evaa-japan.com evaa.japan@gmail.com

本報告書編集委員及び協力者(五十音順)

今村文明、小泉新一、設楽知弘、清水研、高村哲、保坂公人、松崎志津子、松村文雄

目 次

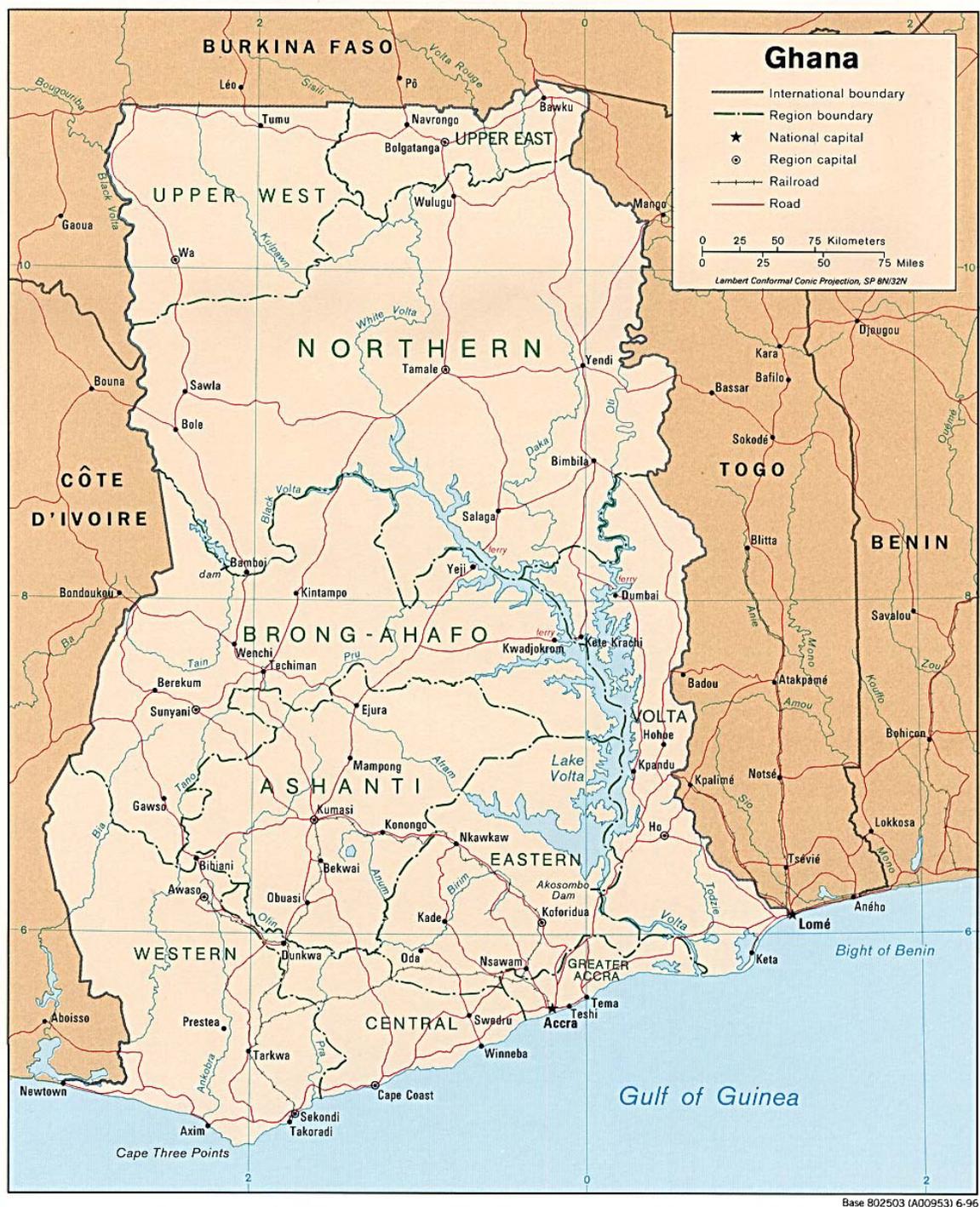
序文	1
はしがき	3
EVAA 紹介	5
目次	6
略語表 [英文]	7
地図	8
調査概要	
1.1 調査の背景・目的	9
1.2 調査の基本方針とその方法	9
1.3 調査団の構成	10
1.4 調査団のスケジュール	11
1.5 報告書の考え方	11
気付きのカード	12
あなたにできる改善アプローチ	
A: 建築的な要素から整理した改善	13
B: クライアントの立場から見た改善	14
ファクトシート 事例編	
サイト 1: Nyaho Clinic VCT	15
サイト 2: Kumasi South Hospital VCT/PMTCT	19
サイト 3: Amansie East District Hospital VCT/PMTCT	23
サイト 4: Bosmo Hospital VCT	29
サイト 5: Atwina Nwabiagya District Hospital VCT	33
サイト 6: Suntreso Urban Health Center VCT	37
サイト 7: Sekyere West District Hospital VCT	41
サイト 8: Kwahu Governmental Hospital VCT	43
サイト 9: Holy Family Hospital VCT	46
サイト 10: Fantiakwa District Hospital VCT	50
サイト 11: Kade Health Center VCT	53
サイト 12: St. Domenic' s Hospital VCT	57

サイト 13: New Abirim Health Center VCT/PMTCT	61
サイト 14: Asuogyaman District VCT/Community Clinic VCT...	69
サイト 15: Eastern Regional Hospital VCT	75
サイト 16: Tetteh Quashie Memorial Hospital VCT	79

略語表 [英文] / ABBREVIATIONS

JOCV	Japan Overseas Cooperation Volunteer
NGO	Non-Governmental Organization
ODA	Official Development Assistance
PMTCT	Prevention of mother to child transmission
VCT	Voluntary Counseling and Testing
CR or (C)	Counseling Room
WR or (W)	Waiting Room
C	Corridor

ガーナ地図



Base 802503 (A00953) 6-96

出典 : http://www.ccafrica.ca/country/ghana/map_political.jpg

1.1 調査の背景・目的

平成 17 年 11 月、VCT センター (Voluntary Counseling and Testing、以下「VCT センター」とする) への建築的サポートの可能性について、ケニア、セネガルの国際協力機構 (JICA) 事務所と JICA 本部とを繋ぐ TV 会議が JICA 本部で行われた。NPO 法人都市計画・建築関連 OV 会 (通称: EVAA) はその会議にメンバー 3 名が招かれ、ケニアやセネガルの VCT センターの建物が持つ老朽化や建築的環境改善について話し合いを行った。このとき EVAA の出席者は VCT センターの持つ特殊性、特にクライアントに対する「プライバシーの保護」、「安心感」などの重要性を知った。そこで EVAA の出席者は現状の VCT センターでも、多くの金をかけずに出来るプライバシー保護などの改善例として、ドアの改善や家具の移動などを提案した。

こうした背景により平成 18 年 3 月 7 日から 4 月 8 日までの約 1 ヶ月間、JICA 青年海外協力隊事務局のシニア海外ボランティアとして、EVAA 会員 5 名が VCT センターの建築的調査としてケニアに派遣された。

そして今回は平成 19 年 3 月 19 日から 4 月 19 日までの約 1 ヶ月間、ケニアと同様シニア海外ボランティアとして、EVAA の会員 3 名がガーナに派遣された。

その目的は、ケニア同様にガーナの VCT センターにおいて、建築的視点からクライアントのプライバシーなどに的を絞り、具体的な提言や活動を行うことである。つまり、VCT センターを訪れるクライアントの立場でその目や耳となって、建築的な調査等を行い、その場でお金をかけずに出来る改善について、ケニアでの活動の例などを示して現地カウンセラーなどの関係者と話し合った。現地関係者からの発案や調査団からの提案に対し、合意が取れたときは、共同でその案に沿った改善 (たとえば家具の配置を換えるなど) を行った。

ガーナには VCT センターは 200 センターがあると言われている。今回訪問した VCT センターはガーナ国南東地域の 21 病院 23 施設である (後述のスケジュールを参照)。JOCV 隊員派遣や支援等で JICA との関係が深い VCT センターが主に選ばれた。

1.2 調査の基本方針とその方法

上記目標を達成するにあたっての本調査の基本方針は次の通りである。

クライアントのプライバシーの確保とくつろいだ雰囲気醸成を

- 調査の目的に従い、クライアントのプライバシーの確保とくつろいだ雰囲気の醸成に努める。

VCT センタースタッフとの話し合いを通じて

- 現場での VCT センタースタッフへの技術移転が何よりも肝要であるので、スタッフとの話し合いを重視し、その合意を得た後に共に作業をして具体的な実例を示した。

- また、同行のエイズ対策隊員への技術移転も同様に重要であり、ケニアでの経験や知見を生かして、調査・活動を共同で行った。

改善策は具体的かつ費用をかけずに

- 「クライアントのプライバシーへの配慮」を行う為、椅子や机、また検査キットの配置替えを提案すると同時に、実際の配置替えを行い、その効果を実感していくようにする。
- 外部からの視線をさえぎるため、透明な窓ガラスを別の場所にある擦りガラスと換えることや、パーティションを使う事により十分にクライアントのプライバシーが確保できることの実例を多く提示することに努める。

良い例からの知見を学ぶ

- VCT センターに入ってから退室するまでクライアントの動線が交差することがないVCTセンターの事例や非常に細かいとこまで配慮しているVCTセンターから学ぶことも重要である。

1.3 調査団の構成

調査団全員が調査の共通認識を持てるよう、最初の2,3の物件で観察に時間をかけ、ケニアでの調査を参考に調査の手順について話し合いを行った。そして、写真や測量、作図などの分担をきめ、活動を行った

表：団員リスト

メンバー名		所属先
1. 松村 文雄	調査団長	EVAA
2. 小泉 新一	調査団員	EVAA
3. 松崎 志津子	調査団員	EVAA
4. 川本 清隆	コーディネーター	JOCV

1.4 調査団のスケジュール

次に本調査のスケジュールを示す。

表: 訪問先リスト

2007 年	SiteNo.	Metropolitan/ Municipal/District	City/Town	訪問先名
3 月 22 日	1	Accra Metropolitan	Accra	Nyaho Clinic VCT
3 月 23 日		Tema Municipal	Tema	Tema General Hospital
3 月 23 日		Accra Metropolitan	Accra	Akai Clinic VCT
3 月 27 日		Kumasi Metropolitan	Kumasi	Komfo Anokye Teaching Hospital VCT
3 月 27 日		Kumasi Metropolitan	Kumasi	PPAG Kumasi
3 月 27 日	2	Kumasi Metropolitan	Kumasi	Kumasi South Hospital VCT
3 月 28 日	3	Amansie East	Bekwai	Amansie EAST District Hospital VCT
3 月 28 日	4	Kumasi Metropolitan	Kumasi	Bomso Hospital VCT&ART
3 月 29 日	5	Atwima Nwabiagya	Nkwai	Atwima Nwabiagya District Hospital
3 月 29 日	6	Kumasi Metropolitan	Kumasi	Suntreso Urban Health Center
3 月 30 日	7	Sekyere West	Manpong	Sekyere West District Hospital VCT/PMTCT
4 月 2 日	8	Kwahu South	Atibie	Kwahu Gov. Hospital VCT/PMTCT
4 月 2 日	9	Kwahu West	Nkwaw	Holy Family Hospital VCT/PMTCT
4 月 3 日	10	Fanteakwa	Begoro	Fantiakwa District Hospital VCT
4 月 4 日	11	Kwaebibirem	Kade	Kade Health Center VCT/PMTCT
4 月 4 日	12	Kwaebibirem	Kade	St. Dominic's Hospital VCT
4 月 5 日	13	Birim North	New Abirim	New Abirim Health Center VCT/PMTCT
4 月 10 日	14	Asuogyaman	Atimpok	Asuogyaman District VCT
4 月 10 日		Asuogyaman	Akosombo	Volta River Authority Hospital VCT
4 月 11 日	15	New Juaben Municipal	Koforidua	Eastern Regional Hospital VCT
4 月 12 日	16	Akuapim North	Manpong	Tetteh Quashie Memorial Hospital VCT

1.5 報告書の考え方

本報告書は基本的には VCT センターの実例をまとめたファクトシート集である。ファクトシート対象の VCT センターは、今回調査を行った 23 カ所の内の 16 カ所である。その選定基準は特徴的であり、また、具体的な実例がある VCT センターなどである。

「気付きのカード」

今回の派遣が決まってから、現地でのような建築的アドバイスを行うかを検討した。その中で、VCTスタッフがクライアントの立場に立って物事を考え、行動するための「気付き」が必要だと感じた。

EVAA会員の一人が、「カードにクライアントの悩み、恐れ、羞恥などを描き、VCTスタッフと語り合ってはどうか」と作ったのがこの「気付きのカード」である。

現地作業の都合上、実際には使われなかったが、このカードによって派遣スタッフが今回の調査の目的とメッセージを共有する機会も得られた。

その一部を紙面で紹介する。



作者：高村哲 建築家、デザイナー

(有)ノームプランニング代表

全国の公園設計などのかたわらイラストを描く。登山専門誌『岳人』の表紙を長年担当した他、イラスト教室なども開く。

自身が関わる「バングラデシュ農村地域の衛生事情とエコ・サントイレ導入に関する研究プロジェクト」では現地の人々が自分たちでトイレ作りが出来るためのイラスト・マニュアルを描き、当会理事の保坂公人氏とともに平成18年7月、京都大学環境衛生工学研究会の優秀プロジェクト賞を受賞した。EVAA 会員

気付きのカードの目次

「クライアントの不安な気持ちは？ (1)」	18
「クライアントの不安な気持ちは？ (2)」	32
「相談できる場所にきたけど、でもそこにいけば・誰かに見られていたり、聞かれていたりしないのだろうか?」	40
「人目が怖い・・・こうしたらどうだろう?」	49
「いつ行けば調べられるの? 何処の部屋に行けばいいの?」	56
「プライバシーって守られているの? 施設は快適なの? (1)」	68
「プライバシーって守られているの? 施設は快適なの? (2)」	78

あなたができる改善アプローチ

— クライアントの不安とその対応に関して —

A: 建築的な要素から整理した改善

1. ドア

- a) 家具の配置替えによって「プライバシーの確保」を行きましょう！
【→ 19, 26, 33, 41, 43, 46, 53, 57, 61, 65, 69 ページ】
- b) パーティションなどの利用によって「クライアントのプライバシーの確保」を行きましょう！
【→ 15, 79 ページ】

2. 窓

- a) 窓から風景や日光は心が和みます。開放感ある窓を確保しつつ、クライアントが座った目線でプライバシーを確保するには窓ガラスの下部に紙などを貼付します。【→ 24, 50, 54 ページ】
- b) a)と類似した問題で、窓ガラスの下部部分を白い塗料などで塗ります。【→紹介ページなし】
- c) ジャロジー窓を閉めることでクライアントのプライバシーの確保をします! 【→37, 62 ページ】

3. 天井

- a) 高い天井により「開放的な空間」が形成され、クライアントがリラックスできます。
【→ 24, 37 ページ】

4. 看板や目印などのサインボード

- a) 入口で病院全体の配置を知らせる案内によりクライアントを誘導します。【→ 50, 65 ページ】
- b) 病院敷地内でクライアントを誘導する案内も必要です。【→ 34 ページ】
- c) 施設 (VCT や TMTCT) の正確な階数や位置の案内で無事たどり着けます。【→ 15 ページ】
- d) 施設を使用しているのかどうか解る案内板の掲示は便利です。【→ 58, 79 ページ】
- e) 診察時間や曜日を掲示して案内することはサービスの向上につながります。【→ 15 ページ】

5. 整理整頓の心がけ

- a) 個人資料の保護が保たれていますか？クライアントは見ています。【紹介ページなし】
- b) カウンセリング室や待合室の「整理整頓」は出来ていますか？【→ 38 ページ】

6. 色づかい

- a) 壁の色を白くすることで、部屋の明るさと清潔感をつくりだしましょう。【→ 50 ページ】
- b) カーテンの生地選びは大切！ 透けない程度で明るく日光を透過するものを！【→ 75 ページ】

7. 一方通行によるプライバシーの確保

- a) 入口から出口までを一方通行にして動線を工夫してクライアントのプライバシーの確保を！
【→ 29, 70 ページ】
- b) 待合室が奥にあることで、診察後に他の人に見られない動線に出来ます！【→ 75 ページ】

8. 壁のポスターやパンフレット

- a) 情報を公開するポスターは、「見やすい展示」を心がけて！【→ 34, 58, 62 ページ】

9. 待合室の環境

- a) 待合室が狭いと動線の確保が難しいです。家具の配置替えにより歩きやすくしましょう。
【→ 23 ページ】

10. その他

- a) 隣の部屋に音漏れがある場合は、対処が必要です！【→ 26 ページ】
- b) 改善アプローチで取り上げたことは、「これから建設する施設」に対して様々な面で役に立ちます。
【→ 73 ページ】

B: クライアントの立場から見た改善

1 「プライバシーの確保」

ドア

- ・家具の配置替え。
- ・パーティションなどの利用。

窓

- ・窓ガラスの下部を紙などで隠す。
- ・ジャロジー窓をしっかりと閉める。

整理整頓

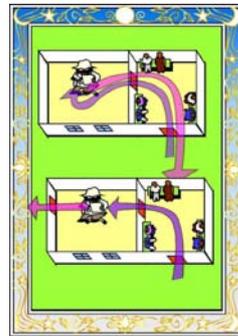
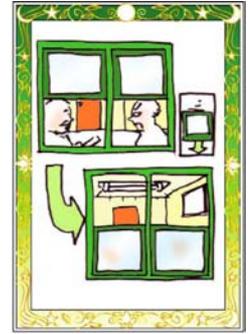
- ・各部屋の整理整頓。

一方通行の計画

- ・入口から出口を一方通行にする。
- ・待合室を奥に配置する。

その他

- ・音漏れを防止する。



2 「リラックス&心地よい環境の確保」

天井

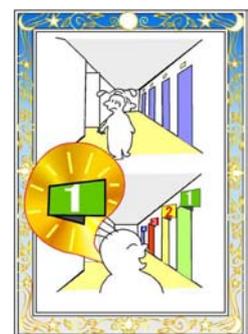
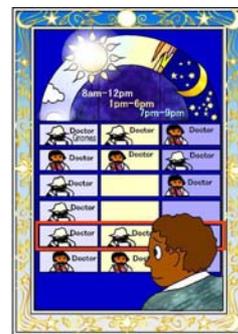
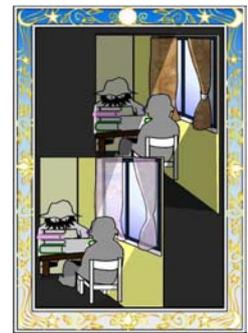
- ・天井を高くして開放感をえる。

色使い

- ・壁の色は白く。
- ・透けない程度で日光を透すカーテン選び。

待合室の環境

- ・歩きやすい動線の確保する。



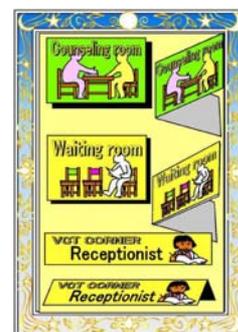
3 「解りやすい情報の提供」

看板や目印などのサインボード

- ・病院全体の配置を知らせる。
- ・広い敷地内を誘導する。
- ・施設の階数や位置を案内する。
- ・施設が使用されているかを知らせる。
- ・診察時間や曜日を案内する。

壁のポスターやパンフレット

- ・見やすく解りやすい展示をする。



4 「その他」

- ・上記すべての事項をこれから建設する施設へ反映する。

■ サイト 1 Nyaho Clinic, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 Type of Building : Complex
Location: Accra, Accra Metropolitan

アクラ市に位置する医療センターの内部にあるこのVCTセンターはとても大きな施設で、白を基調とした外観・内観の清潔感のある建物である。待合室の椅子やテーブル、TVなどの設備が行き届き、カウンセリング室とは隔てられ、声などが外に漏れないような配置計画がなされ、クライアント（受診者）に対して一定の配慮がある施設といえる。カウンセリング室：7ヶ所、待合室：5ヶ所。



VCTセンターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 1: タイプ 1-b : パーティションなどの利用による「クライアントのプライバシーの確保」

カウンセリング室（CR-5）の中に隔ての壁があり、外からクライアントが診察しているのが見えにくいような空間構成になっている。既存のカウンセリング室においてクライアントのプライバシーの確保に対して配慮がなされた好例といえる（写真・図面参照）。



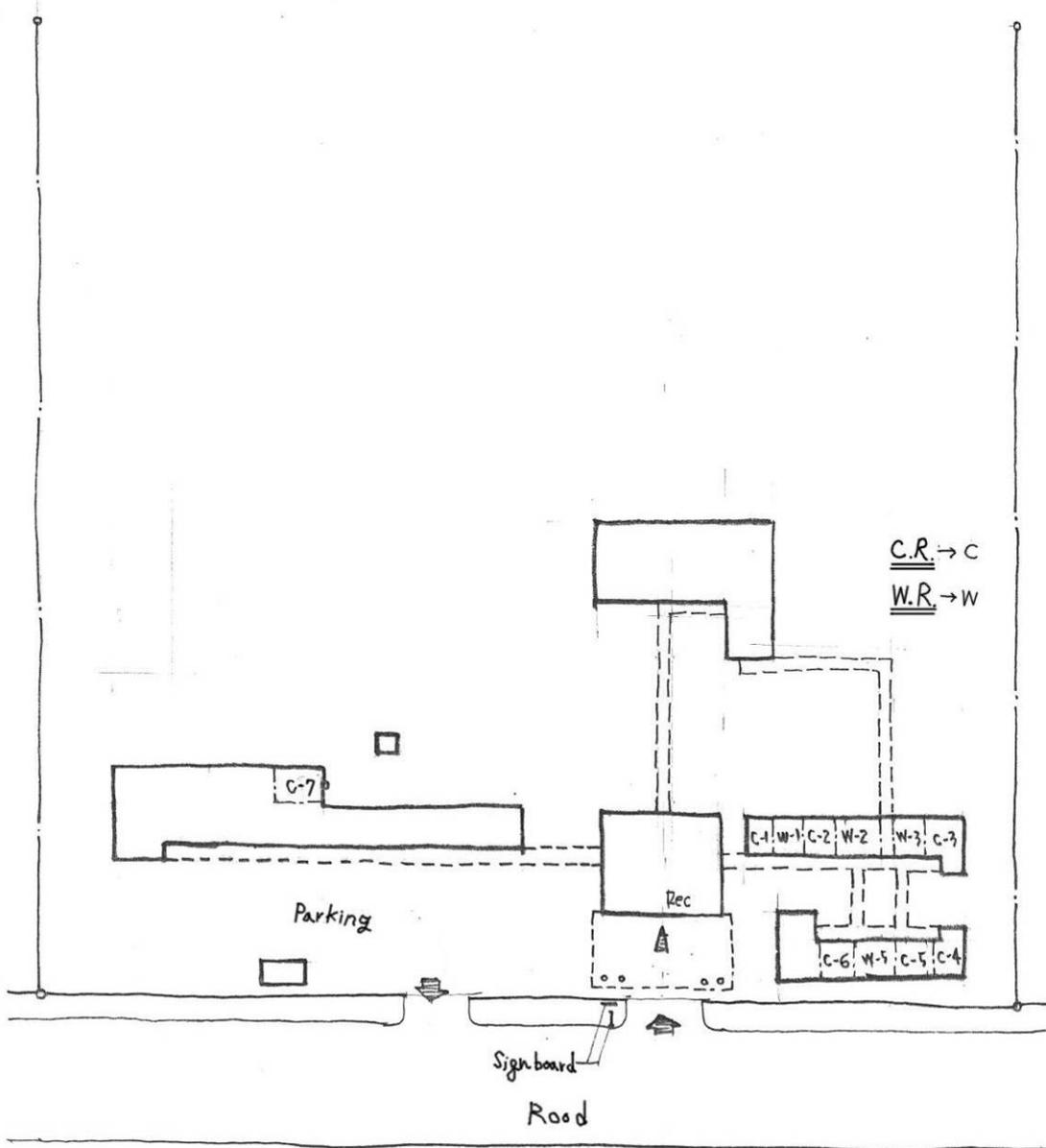
■ 事例 2: タイプ 4-c : 建物の中での位置、何階？「サインボードによる案内」

■ 事例 3: タイプ 4-e : いつくればいいのか、何時に開くの？「サインボードによる案内」

カウンセリング室（CR）や待合室（WR）が並ぶ建物の廊下（C）には、青地に白文字で目立つように部屋の用途と番号を記したサインボードが天井から掛けられ、クライアントが迷わないように配慮されている。また、その並びには診療時間と担当医を知らせた大きなサインボードがある（写真参照）。

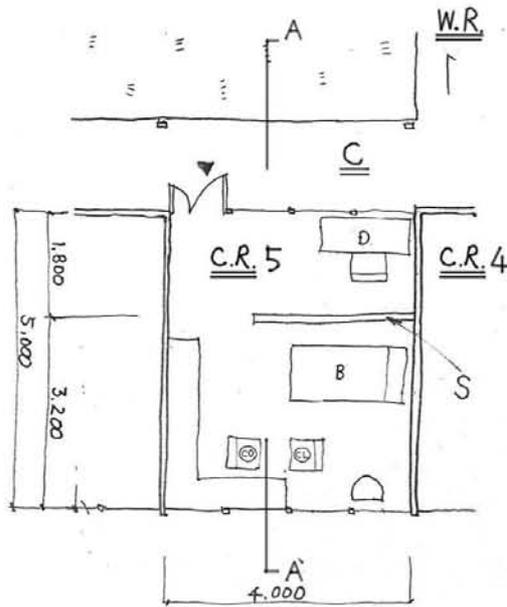


Nyaho Clinic VCT, Accra

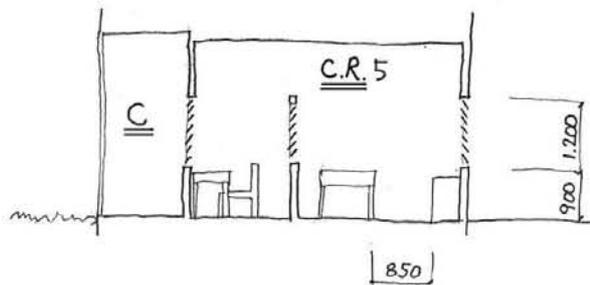


Site Plan

Nyaho Clinic VCT, Accra



Plan



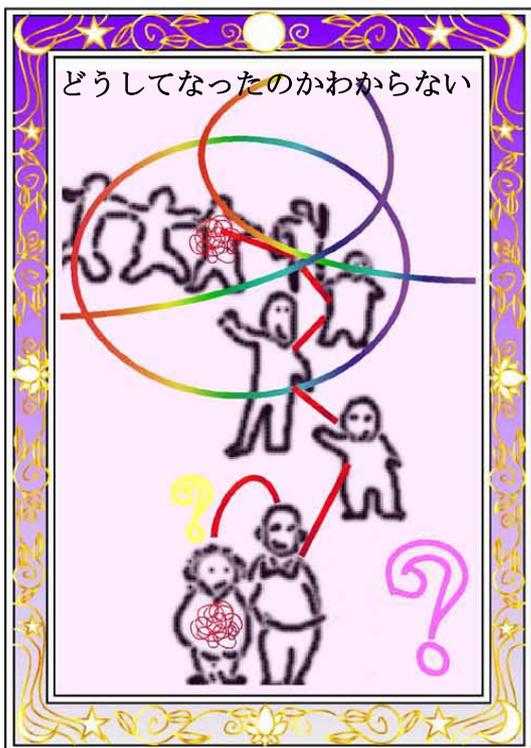
A - A' Section

LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- (CL): CLIENT CHAIR
- (CO): COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

気付きカード(その1)

クライアントの不安な気持ちは？ (1)



■ サイト 2 Kumasi South Hospital, VCT/PMTCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building** : VCT: Detached
Location: Kumasi, Kumasi Metropolitan PMTCT: Complex

クマシ市に位置するこの病院には、VCT センターと PMTCT センターの両方が存在する。VCT センターは PMTCT センターの入った病院本棟の建物から独立し、カウンセリング室と十分な広さの待合室が設けられている。敷地内の高低差をうまく利用して建設され、カウンセリング室の窓は外からの視線を受けないため、クライアントのプライバシーを確保できるような構成になっている。しかし、病院敷地に入るゲート周辺にVCTセンターの位置を案内するサインボードがないことが問題視される。調査はVCTセンターを主な対象として行い、PMTCT センターは図面化のみとした。
 カウンセリング室：2ヶ所、待合室：1ヶ所。



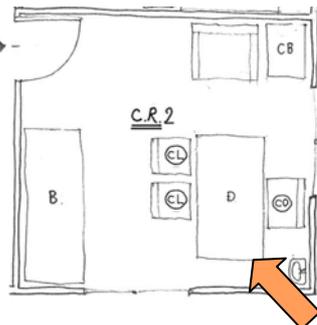
VCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容 (VCT センターに対して)

■ 事例 4: タイプ 1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

VCT センターの待合室 (WR) にいる人から、ドアが開放した状態ではカウンセリング室 (CR-2) にいるクライアントのうしろ姿が丸見えになってしまう。クライアントのプライバシーを確保するために、カウンセリング室にあったキャビネットをドア付近に置くことで、目隠しになるようにした。さらにベッドの場所にクライアントの椅子を移動することで、目隠し効果の向上を図った。ちょっとした家具の配置変更でも、クライアントがより快適に診察を受けられるような環境づくりにつながる。(写真・図面参照)。

Photo Angle



BEFORE

図面：カウンセリング室 (CR-2) の家具の配置変更前の平面図。

写真：カウンセリング室から待合室側 (WR) を見た様子 (ドア開放)。クライアントの椅子は部屋の中央に配置されている。

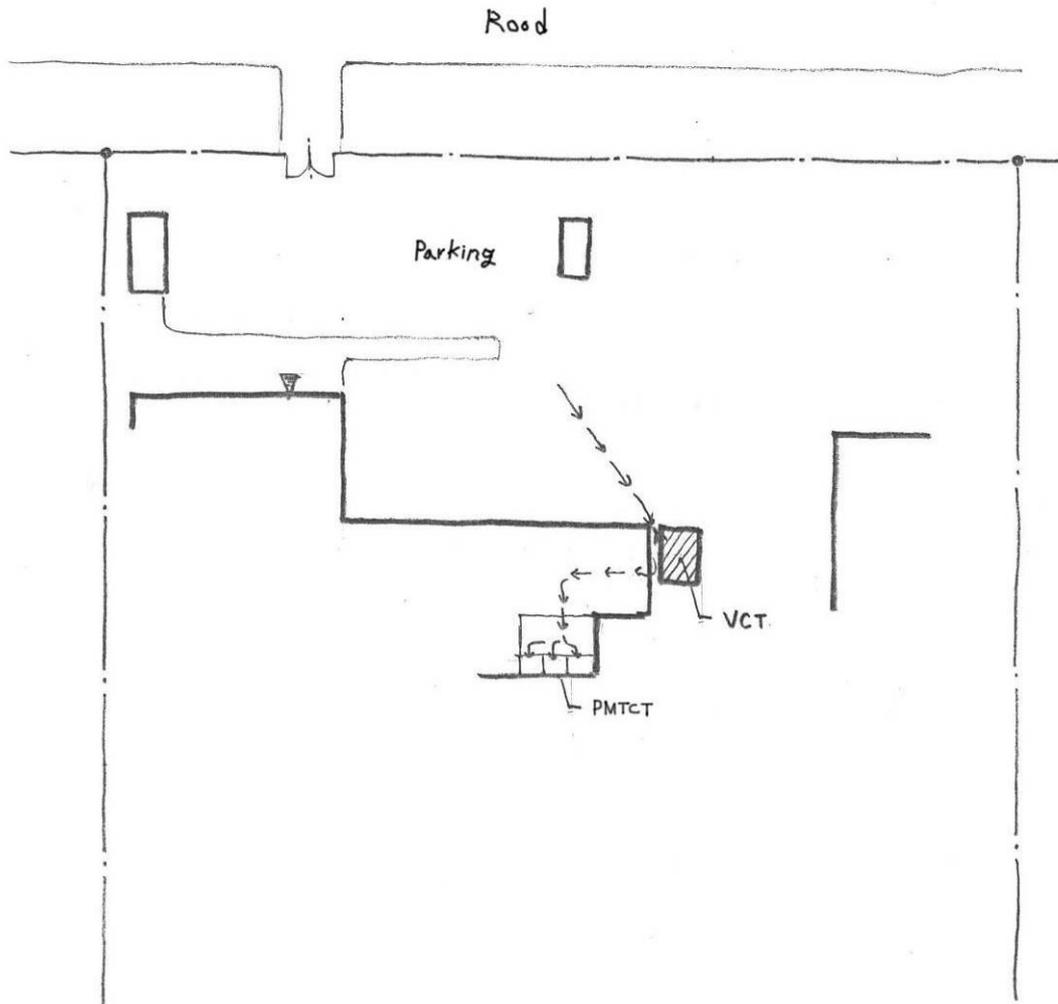


AFTER

図面：カウンセリング室 (CR-2) の家具の配置変更後の平面図。

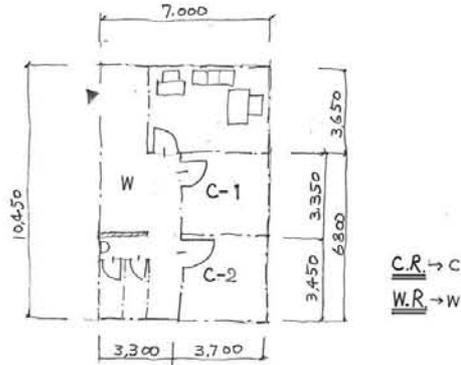
写真：カウンセリング室から待合室側を見た様子 (ドア開放)。キャビネットによって待合室 (WR) からカウンセリング室の部屋にいるクライアントは見えなくなった。

Kumasi South Hospital VCT, Kumasi



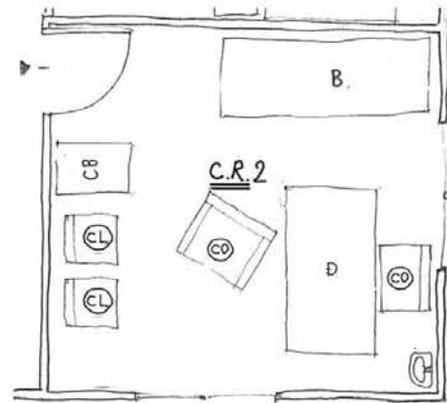
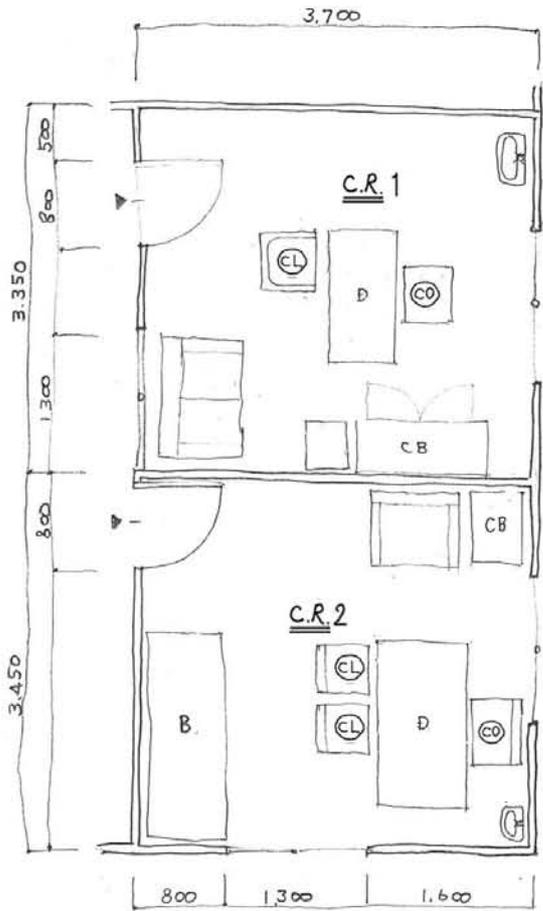
Site Plan

Kumasi South Hospital VCT, Kumasi



LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙(CL): CLIENT CHAIR
- ⊙(CO): COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

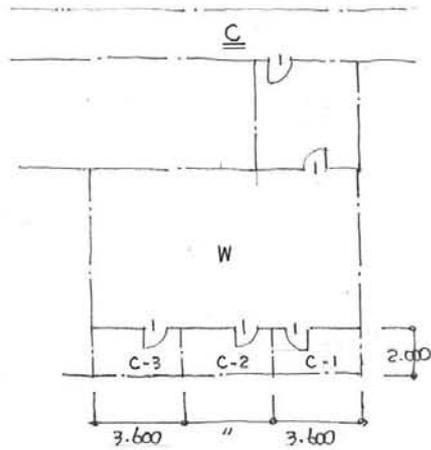


BEFORE

AFTER

Plan

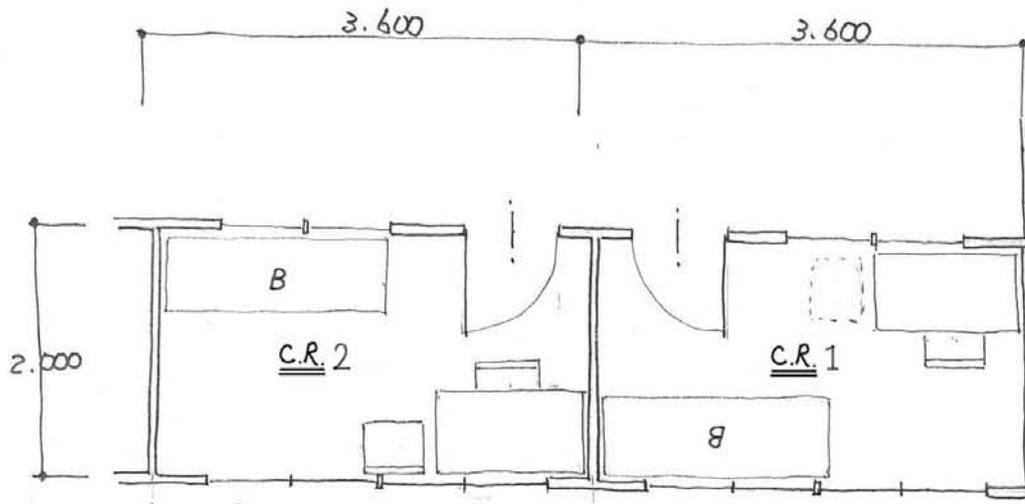
Kumasi South Hospital PMTCT, Kumasi



LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙: CLIENT CHAIR
- ⊙: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

C.R. → C
W.R. → W



Plan

■ サイト 3 Amansie East District Hospital, VCT/PMTCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building** : VCT: Complex
Location: Bekwai, Amansie East PMTCT: Complex

田舎町にあるこの病院には、VCT センターと PMTCT センターの両方が存在し、それらは幹線道路を挟んで隣りあわせて配置されている。VCT センターは事務部門の棟内にある広くて天井の高い中央室の一部に、人の背丈以上の間仕切壁を用いることで仮設的に設けられている。カウンセリング室：1 箇所、待合室：1 ヶ所。

一方で、PMCTC センターは、カウンセリング室の隣に大きな待合室があり、待合室はテラスの様なところに屋根を架けた半屋外空間で雨風が簡単に入るような作りである。カウンセリング室：3 箇所、待合室：1 ヶ所。



VCT センターの外観

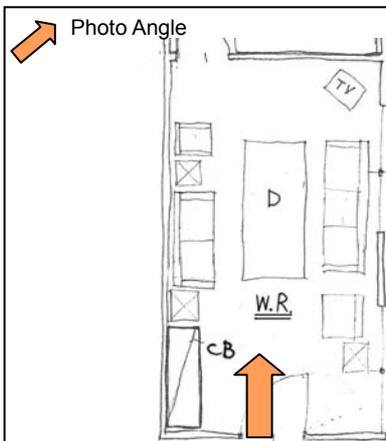


PMTCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容 (VCT センターに対して)

■ 事例 5: タイプ 9-b : 家具の配置替えによる「動線の確保」

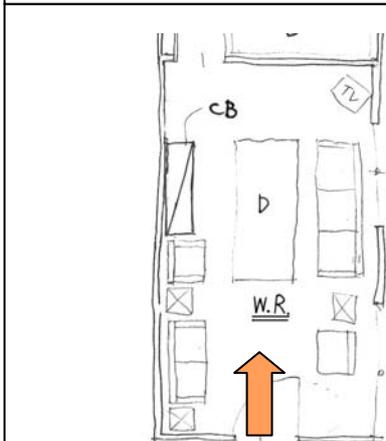
待合室 (WR) にいる人が、カウンセリング室 (CR) に行くための動線となる通路がしっかりと確保されていないため、機能的にとっても使いづらい状態である。通路を確保するために、待合室にあったキャビネットとソファの配置を入れ替えることで、容易にクライアントが通れるようにした (平面図・写真参照)。



BEFORE

図面：待合室 (WR) の家具の配置変更前の平面図。

写真：待合室を見た様子。ソファとテーブルによりカウンセリング室 (CR) に行く通路が無い状態である。



AFTER

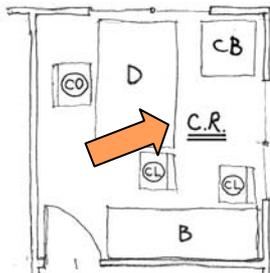
図面：待合室 (WR) の家具の配置変更後の平面図。

写真：待合室を見た様子。キャビネットとソファの配置を入れ替えたことで、通路が確保できた。

■事例6:タイプ2-a : 曇りガラスによる「プライバシーの確保」

カウンセリング室（CR）には、ジャロジー窓が設置されカーテンが掛けられている。注目すべきは、ジャロジー窓の下半分が曇りガラスであることとカーテンがあまり透けない生地であることで、これらによりクライアントに対する外からの視線を二重に遮断することで、プライバシーの確保への熱心な配慮がうかがえる（図面・写真参照）。

Photo Angle



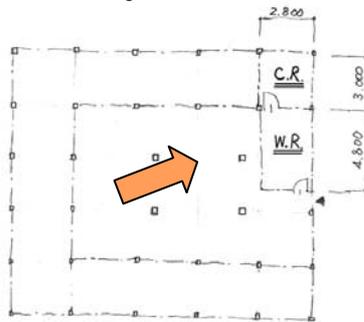
図面：カウンセリング室（CR）の図面。

写真：カウンセリング室の窓の様子。曇りガラスとカーテンによるプライバシーの

■事例7:タイプ3-a : 高い天井による「開放的な空間」

待合室（WR）は、とても高い天井をもつ中央室の一部に、間仕切壁を用いて構成されることで、部屋の広さは狭くても開放的な空間となっている。こうした空間は、診察を待っているクライアントの気持ちをリラックスさせることに効果があると考えられる（図面・写真参照）。

Photo Angle



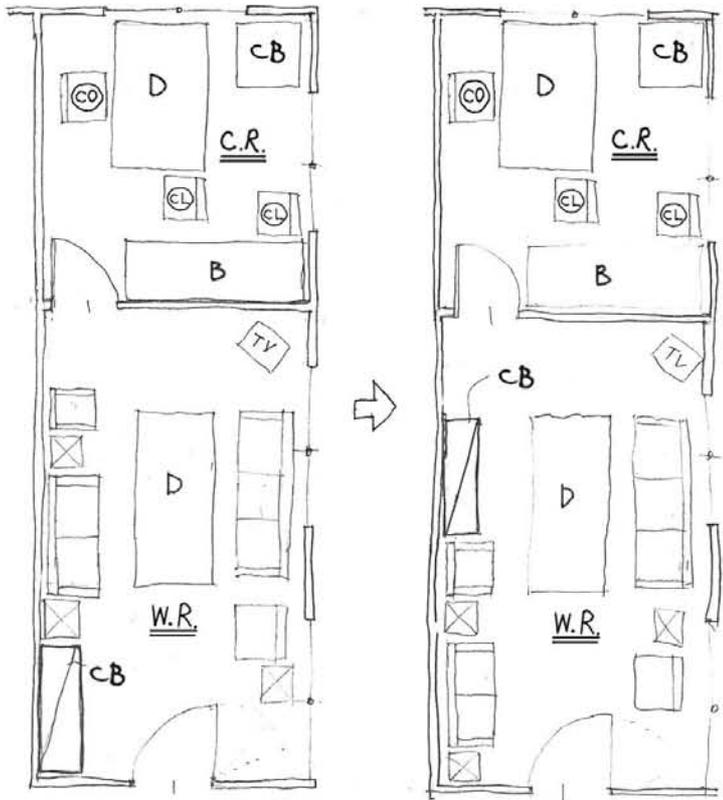
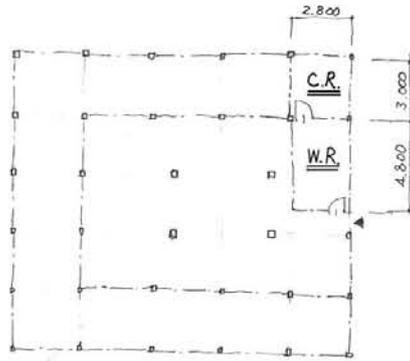
図面：待合室（WR）の家具の配置変更前の平面図。

写真：待合室を見た様子。ソファとテーブルによりカウンセリング室に行く通路が無い状態である。

Amansie East District Hospital VCT, Bekwai

LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙CL: CLIENT CHAIR
- ⊙CO: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR



BEFORE

AFTER

Plan

3 建築的所見での助言、改善内容（PMTCTセンターに対して）

■事例 8: タイプ1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

待合室（WR）にいる人からドアが開放した状態ではカウンセリング室（CR-3）のクライアントの様子がはっきりと見えてしまう。クライアントのプライバシーを確保するために、カウンセリング室のベッドの配置と椅子（クライアント&カウンセラーの両方）と机の配置を入れ替えることで、ドアが目隠しになりクライアントの椅子が待合室から全く見えなくなるようにした（平面図・写真参照）。

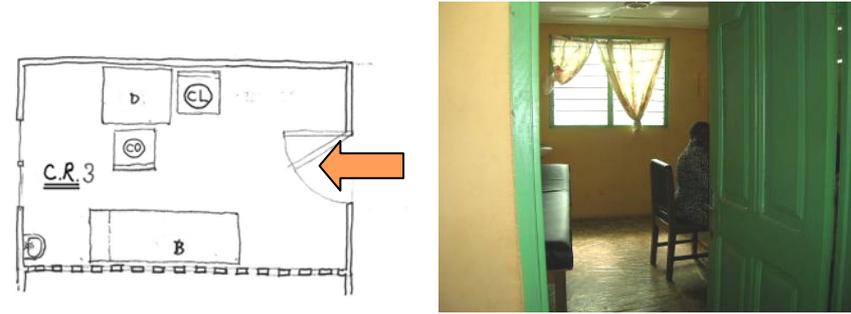
Photo Angle



BEFORE

図面：カウンセリング室（CR-3）の家具の配置変更前の平面図。

写真：カウンセリング室を見た様子。クライアントとカウンセラーの椅子が完全に外から見える。



AFTER

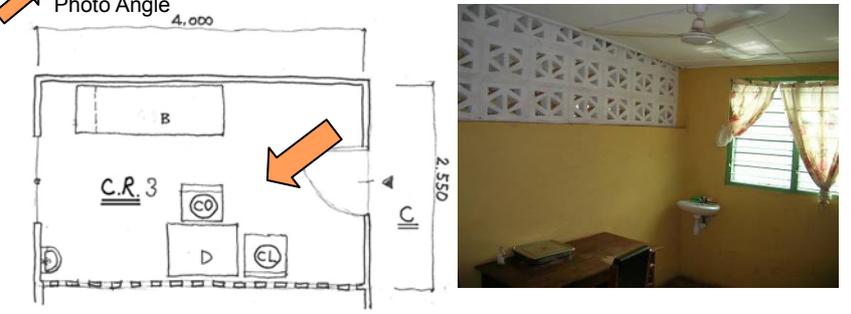
図面：カウンセリング室（CR-3）の家具の配置変更後の平面図。

写真：カウンセリング室を見た様子。ベッドの配置と椅子と机の配置を入れ替えたことで通ドアが目隠しになり、クライアントは見えなくなった。

■事例 10: タイプ10-a : 音漏れ防止による「プライバシーの確保」

カウンセリング室（CR-3）と隣室の間仕切壁の上部が、換気用のガラリ・デザインブロックであることから、隣室に簡単に声が漏れてしまう。換気機能はとても重要であるが、クライアントのプライバシーを確保するためには、設計の段階で両方に配慮した計画が望まれる。対応策としては、この部屋で診察する際には隣室を使用しないことか、音漏れを防ぐために何かでガラリ・デザインブロックの隙間を覆うことしかない（平面図・写真参照）。

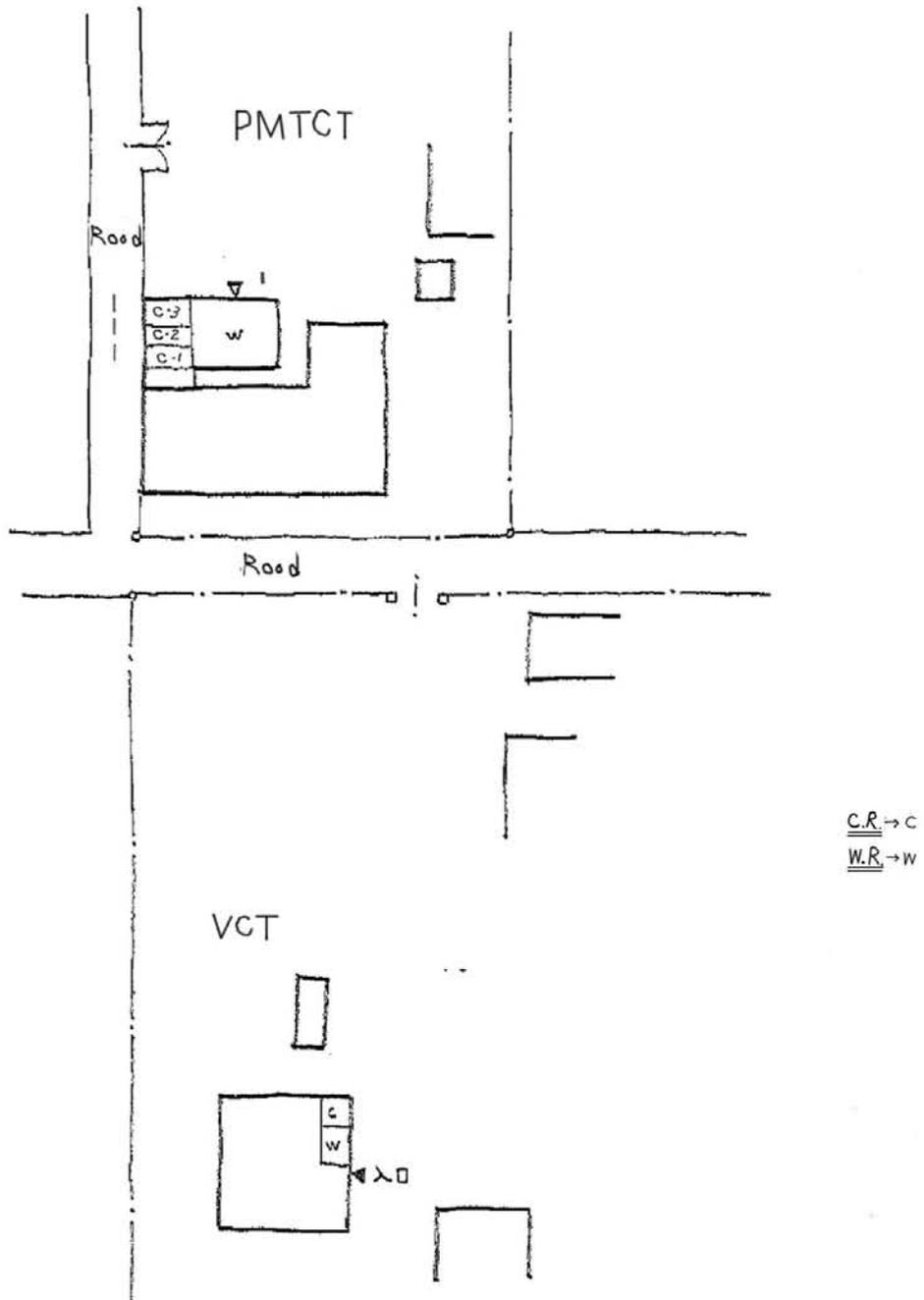
Photo Angle



図面：カウンセリング室（CR-3）の図面。

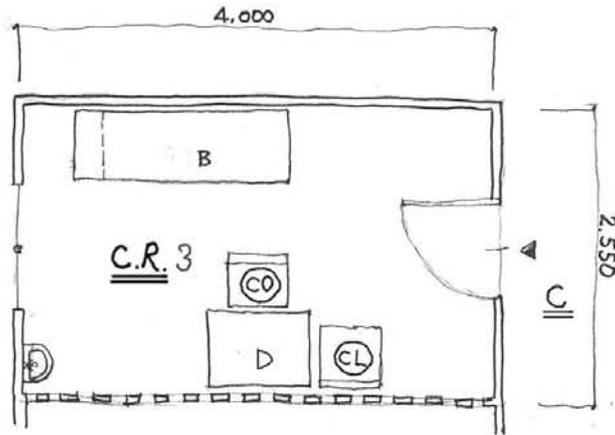
写真：カウンセリング室の様子。隣室との間仕切壁の上部には換気用のガラリ・デザインブロックがある。

Amansie East District Hospital PMTCT, Bekwai

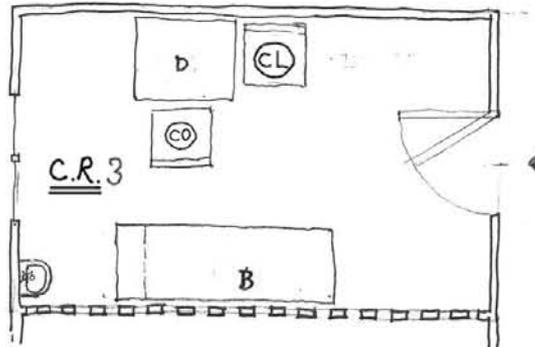


Site Plan

Amansie East District Hospital PMTCT, Bekwai



BEFORE



AFTER

LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- (CL): CLIENT CHAIR
- (CO): COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

Plan

■ サイト 4 Bosmo Hospital, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building** : VCT: Complex
Location: Kumasi, Kumasi Metropolitan

クマシ市に位置するこの病院のVCTセンターは、緩勾配した土地に建設された建物の地階部分に設けられている。外観は薄いピンク色、内観は白を基調として構成され、内部はとても清潔感があり好印象であったが、VCTセンターの案内板がほとんど見当たらないことが改善点として挙げられる。カウンセリング室：2ヶ所、待合室：1ヶ所。



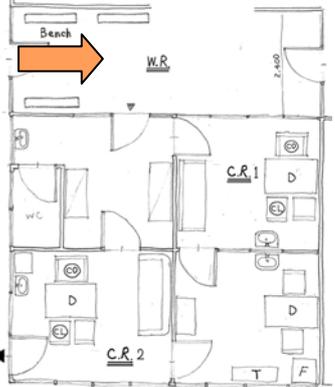
VCTセンターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 11: タイプ 7-a : 入口から出口までの一方通行による「プライバシーの確保」

待合室 (WR) から、2つのカウンセリング室 (CR-1 と CR-2) で診察を受けた後に、待合室に戻らなくても外に出て帰路につけるような平面計画になっている。診察後のクライアントの様子を、待合室にいる他のクライアントなどに見られることがないように、プライバシーの確保に対する配慮がしっかりと見られる好例である。(写真・図面参照)。

Photo Angle

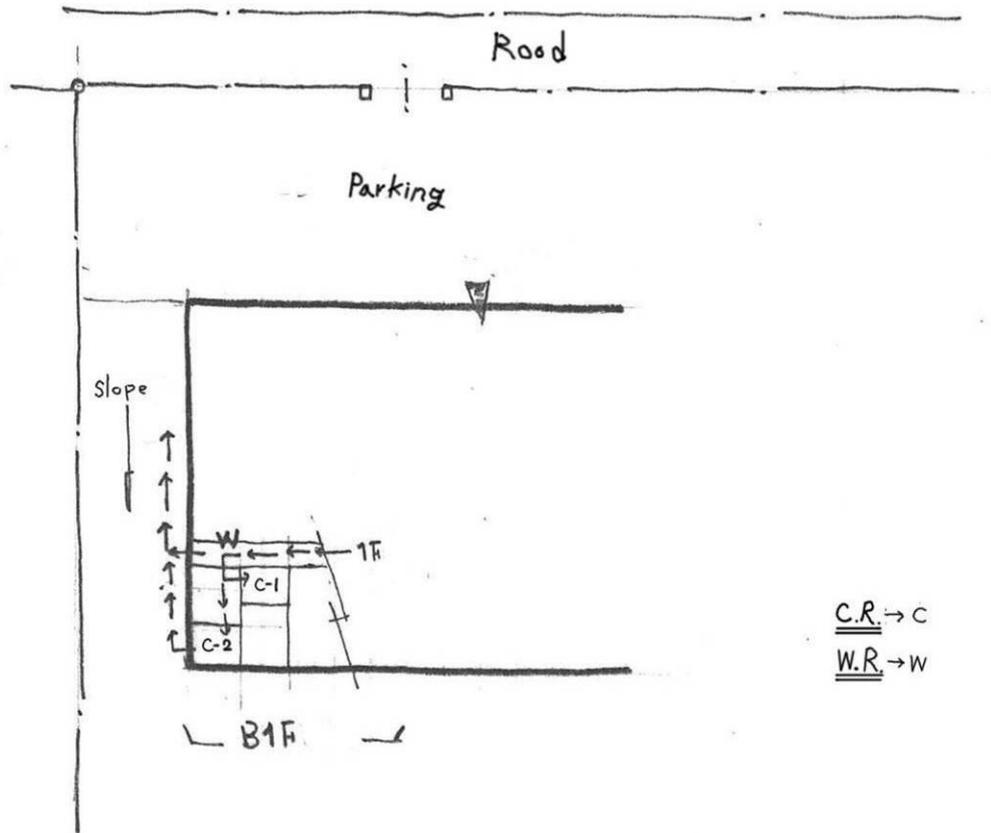




図面：待合室 (WR) の平面図。

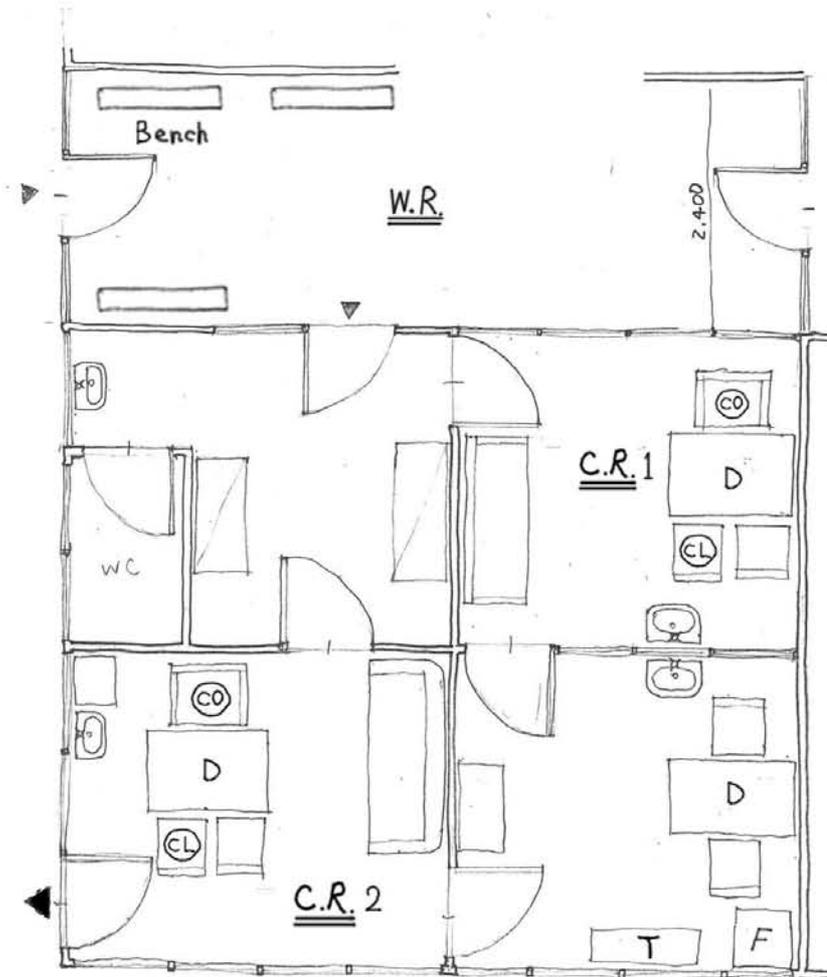
写真：待合室を見た様子。清潔感のある室内空間にはベンチが並ぶ。右側のドアからカウンセリング室 (CR-1, CR-2) へと進む。

Bomso Hospital VCT, Kumasi



Site Plan

Bomso Hospital VCT, Kumasi



LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- (CL): CLIENT CHAIR
- (CO): COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

Plan

気付きカード(その2)

クライアントの不安な気持ちは？ (2)



■ サイト 5 Atwina Nwabiagya District Hospital, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building** : VCT: Complex
Location: Nkawie, Atwina Nwabiagya

田舎町の大通りに面して位置するこの病院のVCTセンターは、広い敷地の一番奥に建設されている。平屋建てで切り妻屋根の建物は中廊下式の平面計画で、カウンセリング室は奥にあり、待合室は廊下を使用している。また、大通り側にはPMTCTセンターもあるが、今回の調査ではVCTセンターのみを対象とした。カウンセリング室：1ヶ所、待合室：1ヶ所。

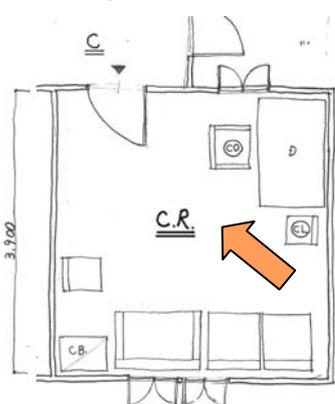
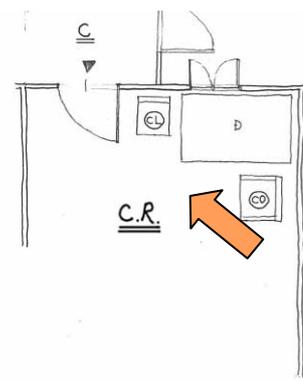


VCTセンターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 12: タイプ 1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

待合室（WR）から、ドアが開放した状態ではカウンセリング室（CR）のクライアントの顔の表情まで見えてしまう。クライアントのプライバシーを確保するために、カウンセラーとクライアントの椅子の配置を入れ替えることで、ドアを開けたときにそれが目隠しになりクライアントの椅子が待合室から全く見えなくなるようにした（平面図・写真参照）。

<p>Photo Angle</p> 		<p>BEFORE</p> <p>図面：カウンセリング室（CR）の家具の配置変更前の平面図。</p> <p>写真：カウンセリング室を見た様子。ドアが開くと、クライアントの様子が完全に外から見える。</p>
		<p>AFTER</p> <p>図面：カウンセリング室（CR）の家具の配置変更後の平面図。</p> <p>写真：カウンセリング室を見た様子。カウンセラーとクライアントの椅子の配置を入れ替えたことで、クライアントは見えなくなった。</p>

■事例 13: タイプ 4-b : 病院敷地内で誘導する「サインボードによる案内」

病院に来て VCT センターの場所を案内するものが何もないと、クライアントは何処へ行っていいのかわからず、場合によっては誰かに場所を聞かなくてはならないことになる。この病院では、サインボードを効果的にいくつかの場所に設置していることで、適切な情報案内がクライアントに提供されている（平面図・写真参照）。

大通りに面した場所に VCT センターの存在を示すサインボードがある。

病院の敷地内に VCT センターの位置を示すサインボードがある。

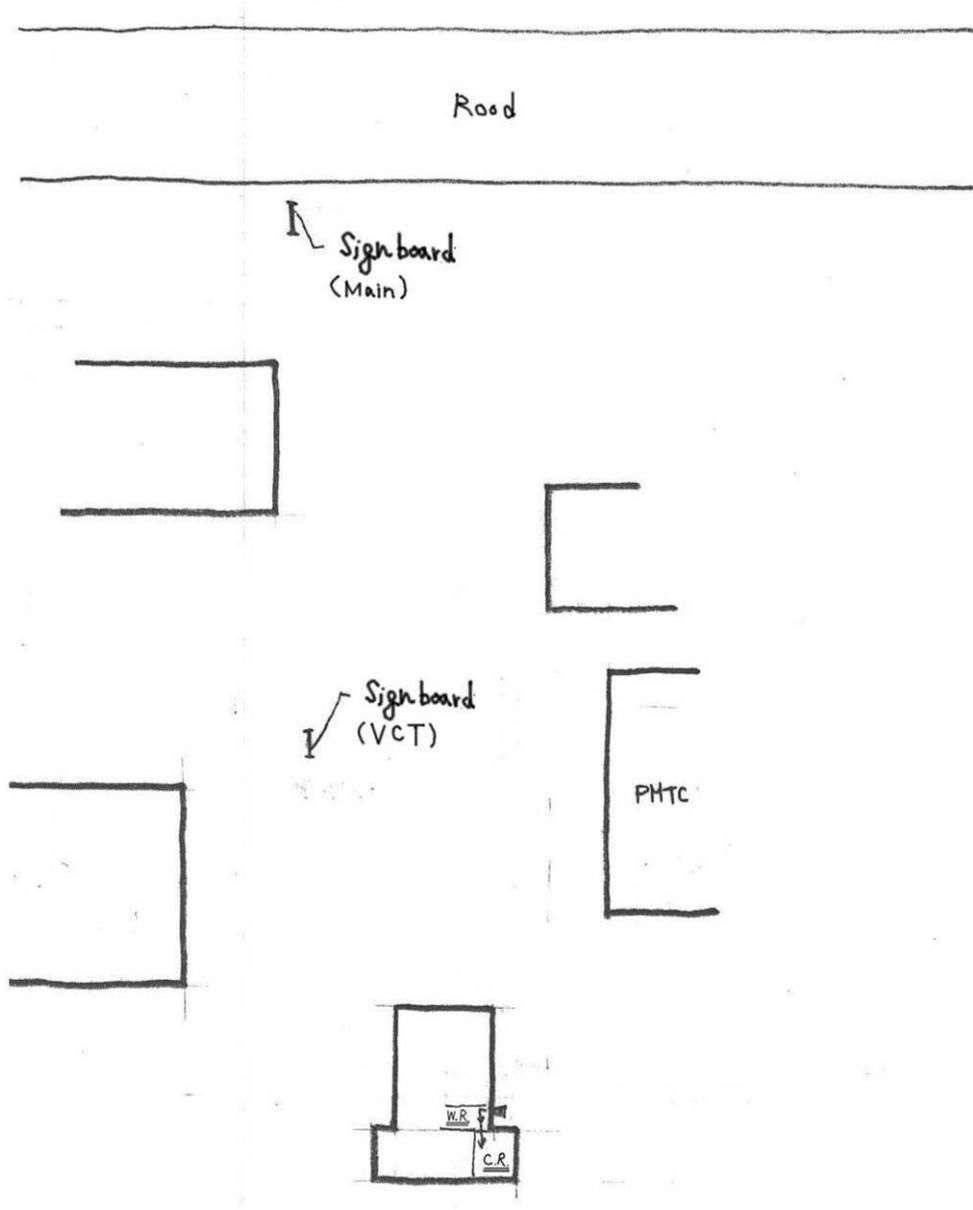
■事例 14: タイプ 8-a : 情報を公開するポスターの「見やすい展示」

カウンセリング室 (CR) や待合室 (WR) の壁には、クライアントに対してエイズに関する様々な情報を公開するポスターなどが展示されている。せっかくのポスターも展示方法が雑で見にくい場合は、クライアントに興味をもって見てもらうことはつながらない。解りやすく、見やすい展示を心がけることがとても大切である（平面図・写真参照）。

壁面ボードに、エイズに関する統計資料をグラフで図示し、病状に関することを文章や写真で展示している。

同じく壁面ボードに、病院エイズに関する様々な統計資料をグラフで図示している。

Atwima Nwabiagnya District Hospital VCT, Nkawie

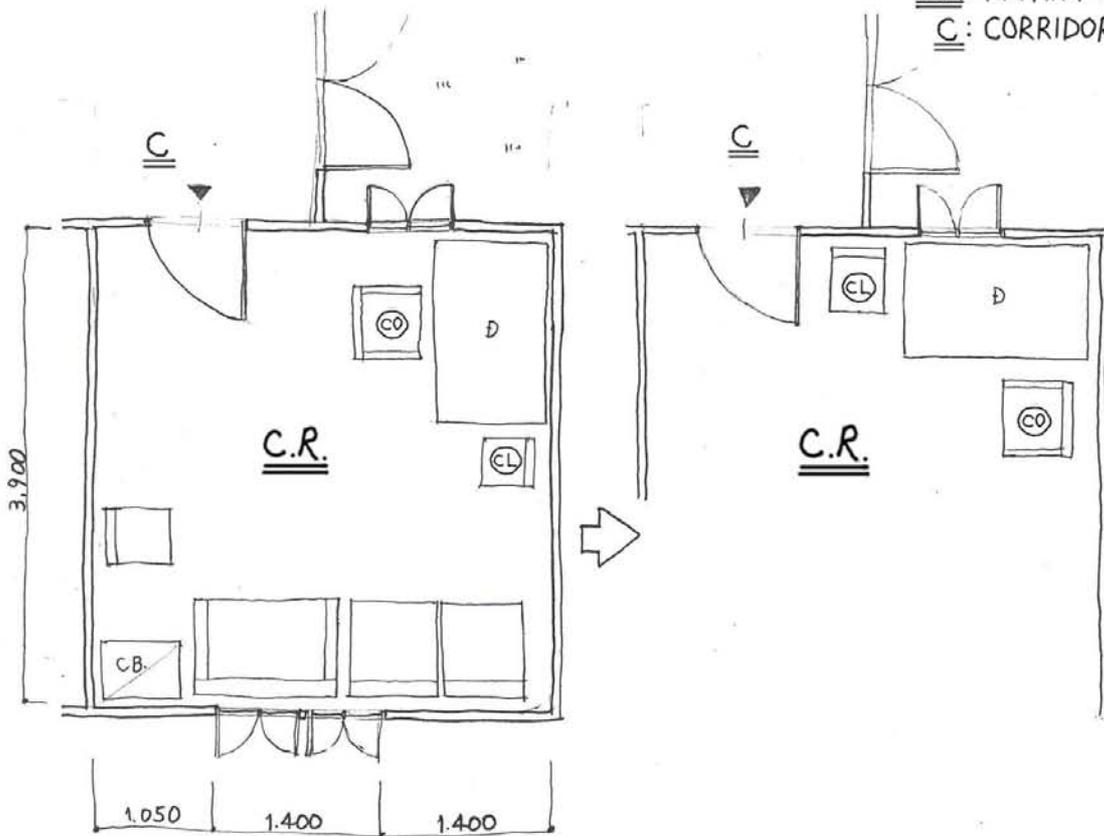


Site Plan

Atwima Nwabiagya District Hospital VCT, Nkawie

LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- Ⓞ: CLIENT CHAIR
- Ⓞ: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR



BEFORE

AFTER

Plan

■ サイト 6 Suntreso Urban Health Center, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building** : VCT: Complex
Location: Kumasi, Kumasi Metropolitan

クマシ市に位置するこの施設には、VCT センターと PMTCT センターの両方が存在するが、調査は VCT センターのみ行われた。VCT センターには、施設の棟内の中庭を取り囲む廊下から入り、VCT センターの内部には大きな待合室があり、それを取り囲むようにカウンセリング室が配置されている。カウンセリング室の内部の椅子や机の配置は、クライアントのプライバシー確保に対する配慮がなされている。カウンセリング室：3ヶ所、待合室：1ヶ所。



VCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 15: タイプ 2-c : ジャロジー窓を閉めることで「プライバシーの確保」

カウンセリング室 (CR-1) の中には、中庭を取り囲んで設けられた廊下 (C) の方にジャロジー窓が設置されている。このジャロジー窓の下半分は曇りガラスであるが、開けっ放しの状態では、クライアントに対する外からの視線が遮断できず、プライバシーの確保ができない。日ごろからこのことに配慮し、クライアントを診察するときは、閉めることを助言した。(図面・写真参照)。



■ 事例 16: タイプ 3-a : 高い天井による「開放的な空間」

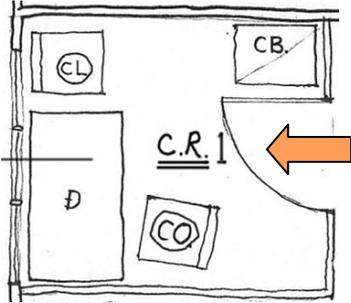
カウンセリング室 (CR-1) の天井はメッシュの金網を固定したものになっているが、少し圧迫感があることから、診察時のクライアントの気持ちに配慮して取り外すように助言した (図面・写真参照)。



■事例 17: タイプ 5-b : カウンセリング室や待合室の「整理整頓」

カウンセリング室 (CR-1) の机の上にいろいろな書類が載っていたり、床に雑然ともものが置かれていたりすると、個人の情報の漏えいの恐れやクライアントに対して衛生面で不快な印象をあたえることになる。この施設の場合は、机の上に検査機器や書類が散乱していたので、整理整頓の重要性を説明し実行を促した (図面・写真参照)。

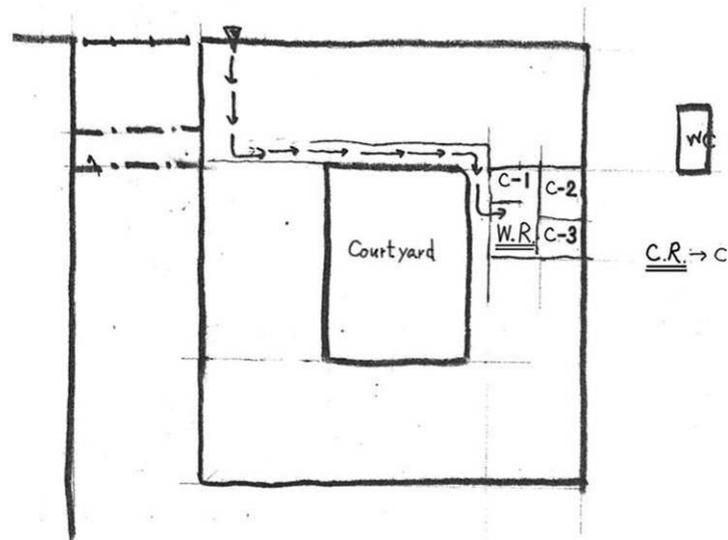
Photo Angle




図面：カウンセリング室 (CR-1) の平面図。

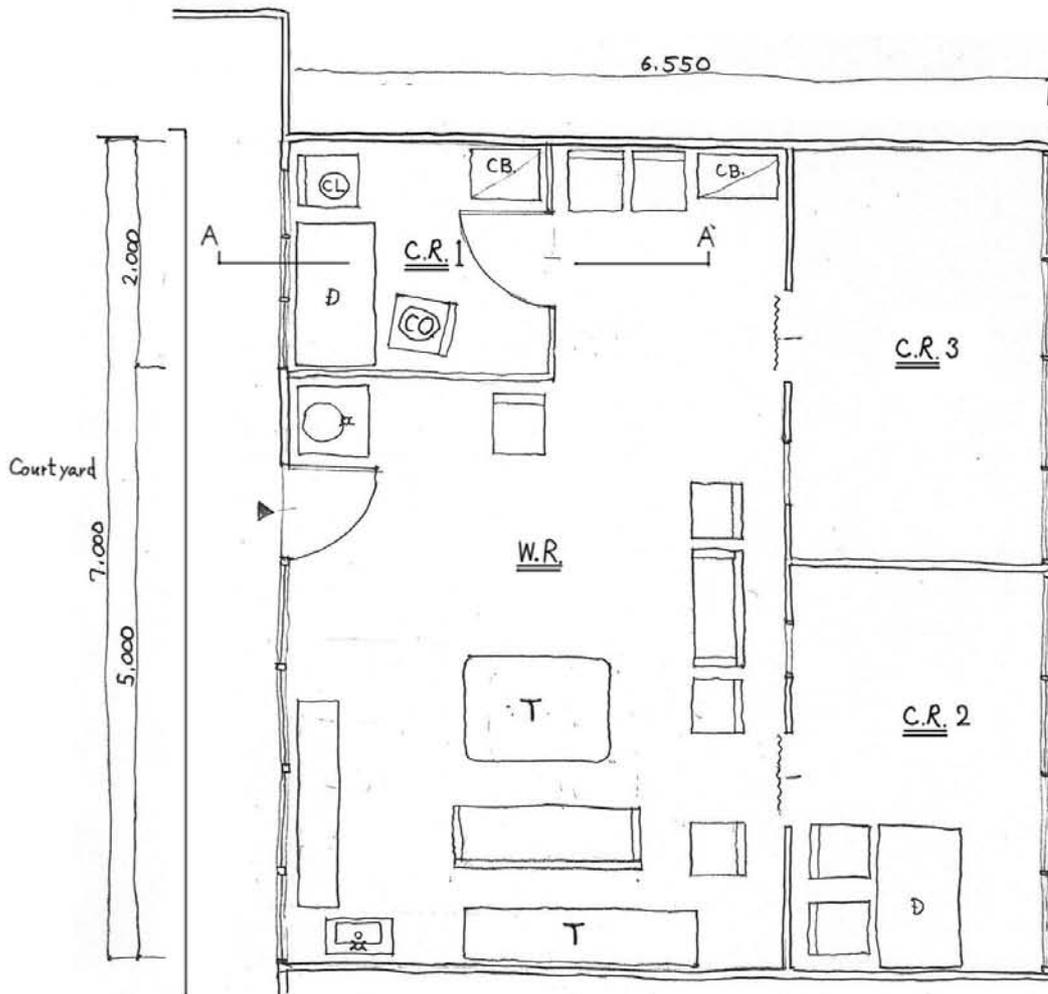
写真：カウンセリング室の天井がメッシュの金網であり、室内は檻の中のような印象すら受ける。

Suntreso Urban Health Center VCT, Kumasi

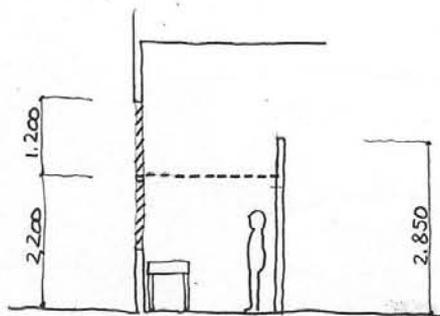


Site Plan

Suntreso Urban Health Center VCT, Kumasi



Plan



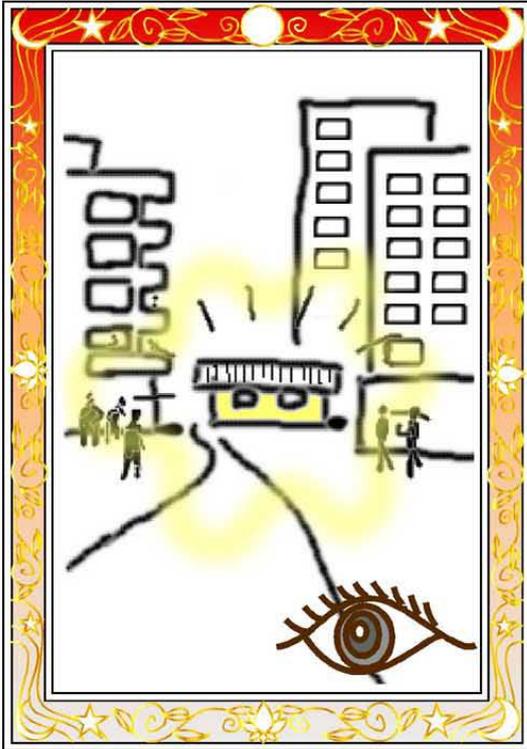
A - A' Section

LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙CL: CLIENT CHAIR
- ⊙CO: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

気付きカード(その3)

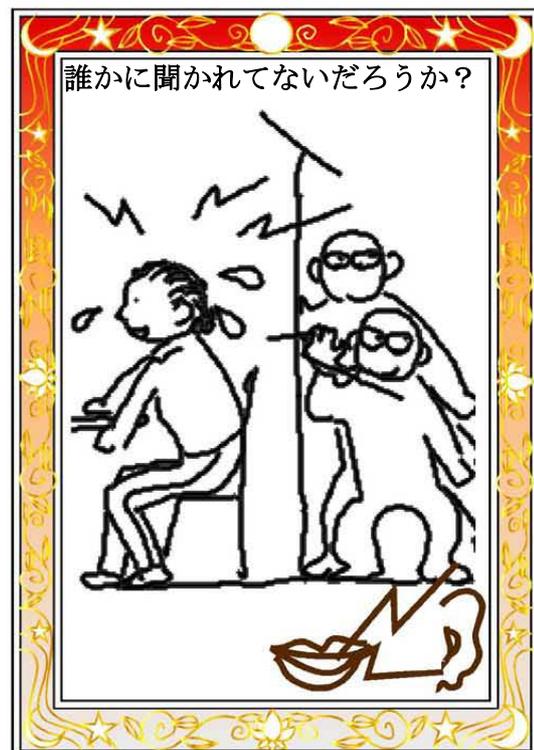
相談できる場所にきたけど、でもそこにいけば・・・
誰かに見られていたり、聞かれていたりしないのだろうか？



わー！目立つところにあるなー！！



ドアを開けると見えてしまう！



■ サイト 7 Sekyere West District Hospital, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building :** VCT: Complex
Location: Manpong, Sekyere West

地方にある大きな総合病院で、VCTセンターとPMTCTセンターの両方が存在するが、調査はVCTセンターのみ行われた。同じデザインの建物を連続して配置したつくりの病院の病棟内にVCTセンターは設置されている。VCTセンターは頻繁には使用されていないようで、カウンセリング室の奥のほうにはクモの巣も見られ、掃除が行き届いていない。カウンセリング室：1ヶ所、待合室：廊下を利用。



VCTセンターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 18: タイプ 1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

待合室（廊下）にいる人から、ドアが開放した状態ではカウンセリング室（CR）にいるクライアントが見えてしまうことを、他の施設の改善例を見せて職員に説明した。その結果、カウンセラーが自ら改善策を提示したので、その配置に改善することにした。クライアントのプライバシーを確保するために、ドアの右側付近の空間に、ソファとテーブルを移動したことで、ドアを開けた状態でもクライアントの姿が全く見えなくなった（写真・図面参照）。

Photo Angle

BEFORE
 図面：カウンセリング室（CR）の家具の配置変更前の平面図。

1

2

AFTER
 図面：カウンセリング室（CR）の家具の配置変更後の平面図。

1

2



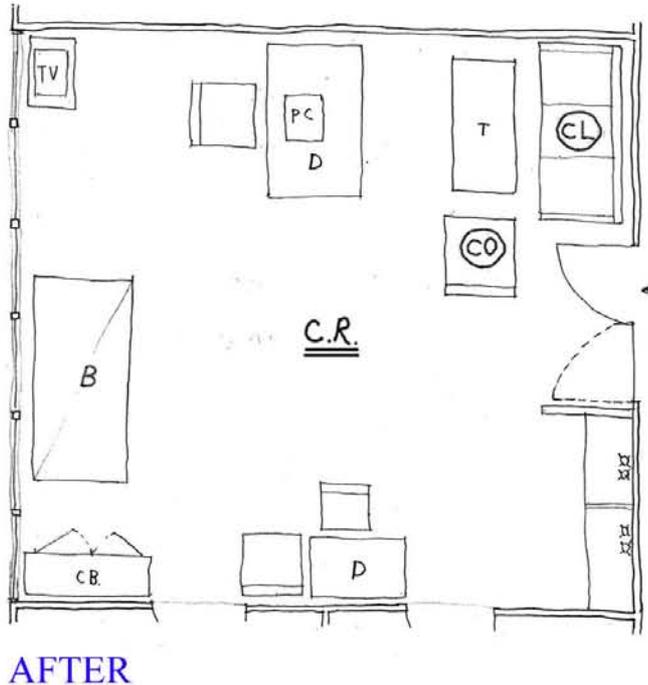
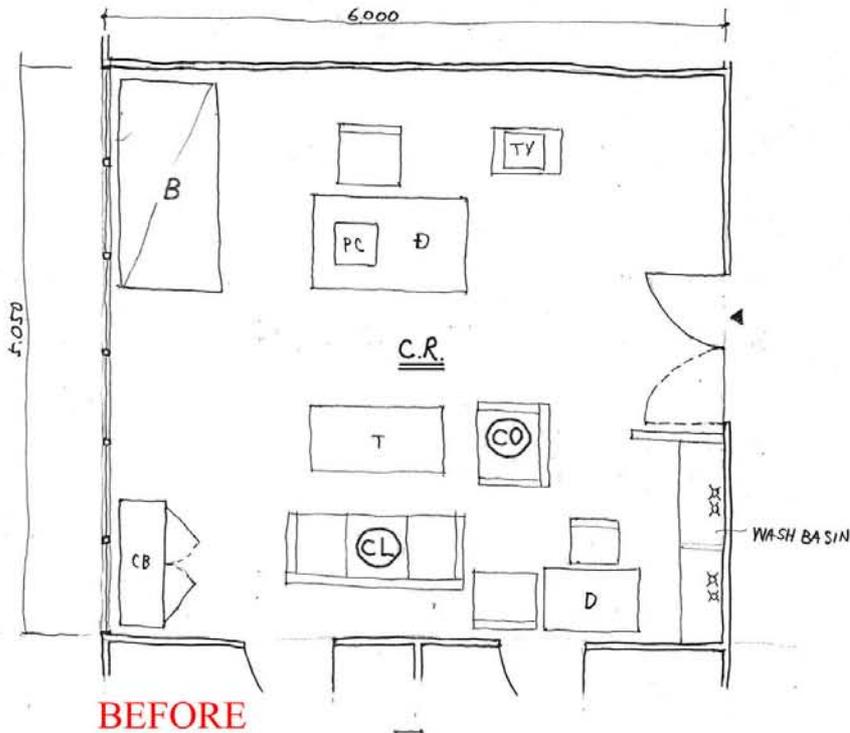
写真：カウンセリング室と待合室（廊下）を双方から見た様子。クライアントが容易に見られてしまう。



写真：カウンセリング室と待合室（廊下）を双方から見た様子。クライアントが全く見えなくなった。



Sekyere West District Hospital VCT, Manpong



LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- (CL): CLIENT CHAIR
- (CO): COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

Plan

■ サイト 8 Kwahu Governmental Hospital, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building :** VCT: Complex
Location: Atibie, Kwahu South

この病院ではVCTセンターとPMTCTセンターが同じ部屋を使用している。施設内は援助された家具が各部屋の壁側を埋め尽くし、人が通れないような状況を招いている。カウンセリングを行う以前に、環境のあまりの悪さに驚くとともに、比較的新しい施設を十分に活かしきれていないことがとても残念であった。田の字型の4部屋のうち1部屋は物置に使用され、残りはカウンセリングが1室と待合が2室。



VCTセンターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 19: タイプ1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

廊下 (C) から1つ目の待合室 (WR) に入るドアは椅子にあたり完全には開かない状態である。それから2つ目の待合室に入るドアは完全に開けっ放しのままソファの背もたれにより固定されている。カウンセリング室 (CR) に入るとドアは、キャビネットにぶつかり完全には閉まらないようになっている。また、キャビネットの上には箱などが雑然と置かれている。衛生面での問題もあるが、必要以上に多く置かれた椅子やソファとそれらのいい加減な配置により、限られた面積が有効に使われていないこととクライアートのプライバシー確保への配慮が全くないことが大きな改善点として指摘される。(写真・図面参照)。

Photo Angle

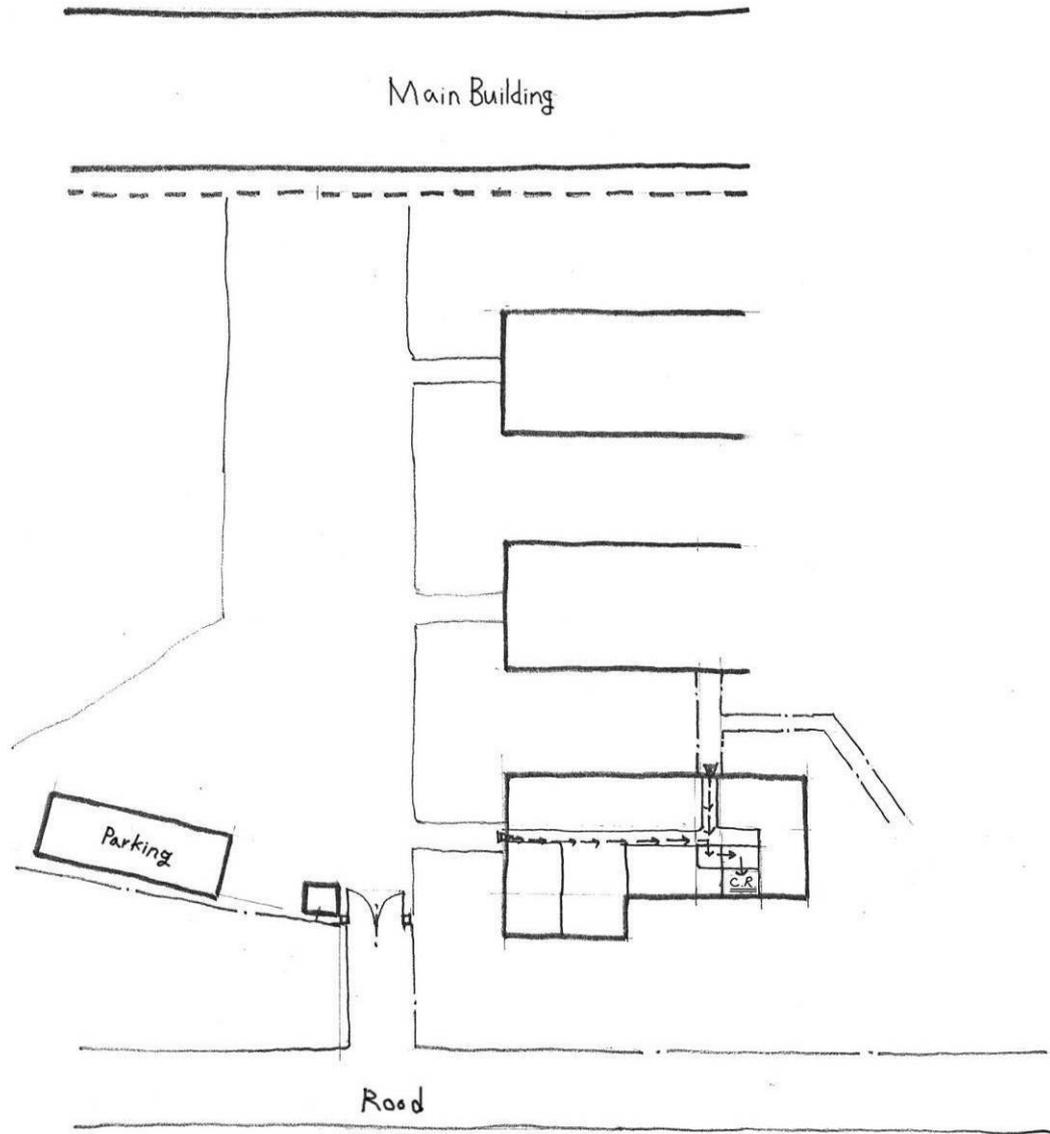
1 1つ目の待合室 (WR) に廊下 (C) から入る様子。中の椅子にドアがぶつかり完全には開かない。

2 寄贈された新しい椅子がびっしりと並ぶ1つ目の待合室の様子。

3 2つ目の待合室の様子。ソファにより1つめの待合室との間のドアが固定されている。

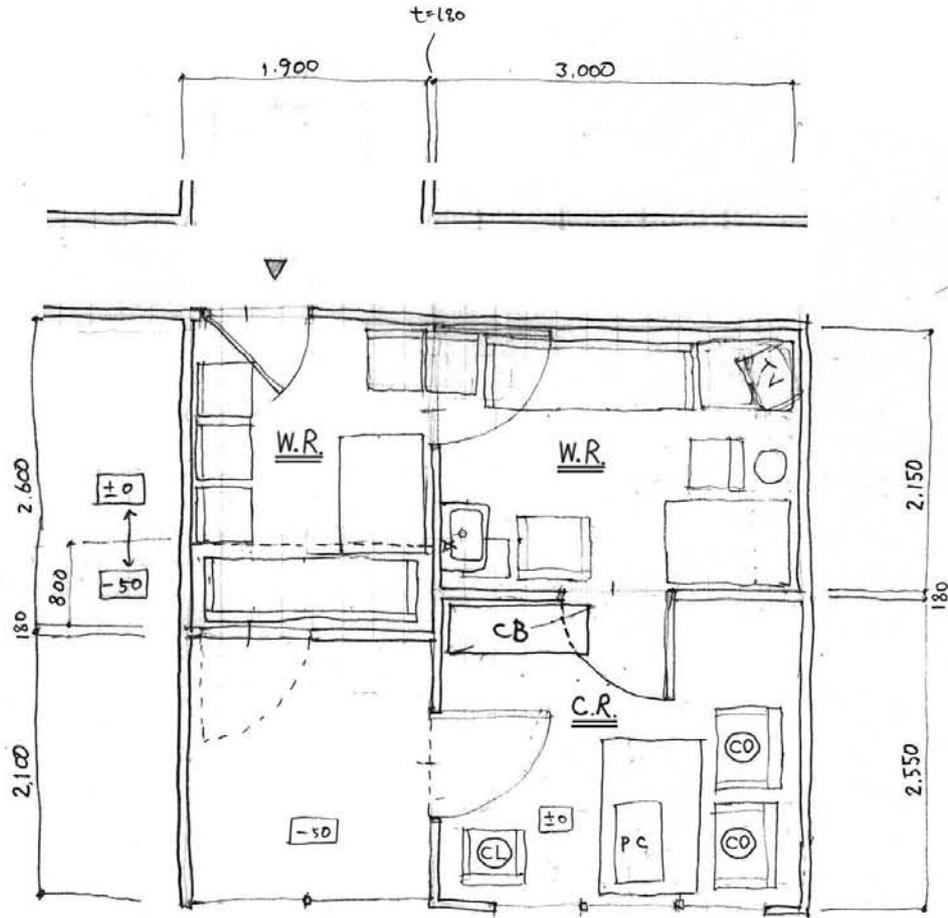
4 カウンセリング室 (CR) と2つめの待合室の間のドアはキャビネットにぶつかり、完全には閉まらない。

Kwahu Gov. Hospital VCT, Atibie



Site Plan

Kwahu Gov. Hospital VCT, Atibie



LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- (CL): CLIENT CHAIR
- (CO): COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

Plan

■ サイト 9 Holy Family Hospital, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building :** VCT: Detached
Location: Nkawkaw, Kwahu West

比較的大きな道路に面した場所に位置するキリスト教ミッション系の病院で、外国人のシスターがとても多く勤務している。病院には VCT センターと PMTCT センターの両方が存在し、PMTCT センターは道路に面して、VCT センターは敷地の一番奥にある。今回の調査は VCT センターのみ行った。現在、VCT センターの拡張工事の最中で、既存の VCT センターへの助言に加えて、建設中の現場に向向いて新しい建物の図面を確認して、家具のレイアウトやドアの配置、窓の仕様や壁の仕上げなどに関して確認し、いくつかの助言を行った。カウンセリング室：1ヶ所、待合室：廊下を利用。



VCT センターの外観



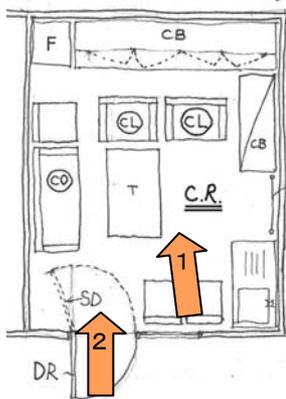
VCT センターの拡張工事の現場

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 20: タイプ 1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

カウンセリング室 (CR) は清潔な印象をあたえ家具も整っているが、クライアントの椅子の場所がドアの外から丸見え状態であった。室内にあるキャビネットを配置変更することで目隠しとして用い、効果的にクライアントのプライバシーを確保することを助言し、改善を行った (写真・図面参照)。

Photo Angle



BEFORE

図面：カウンセリング室 (CR) の家具の配置変更前の平面図。



写真：カウンセリング室を2つの角度から見た様子。



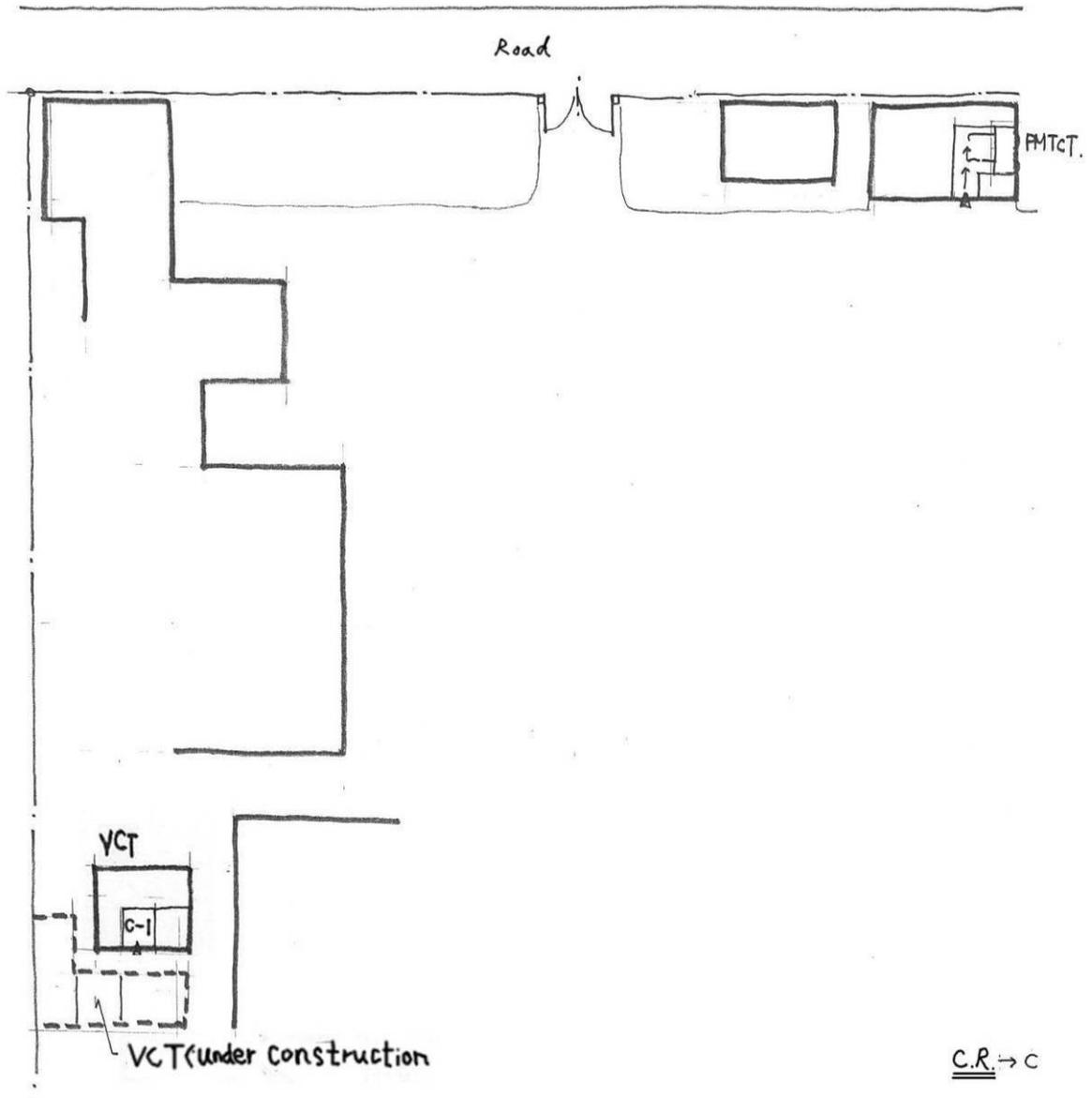
AFTER

図面：カウンセリング室 (CR) の家具の配置変更後の平面図。



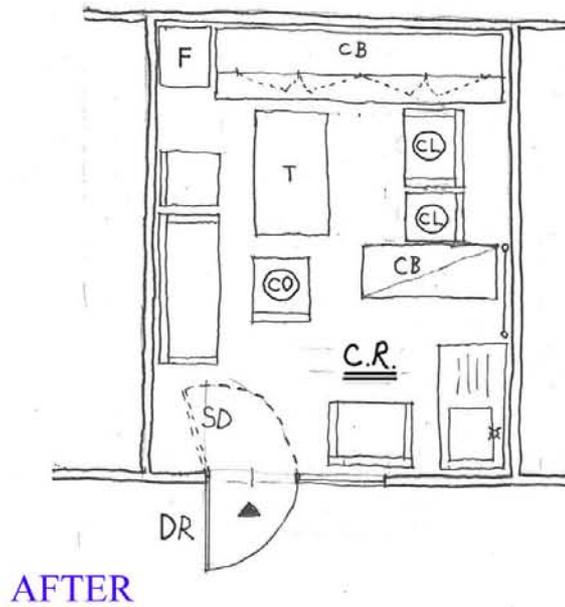
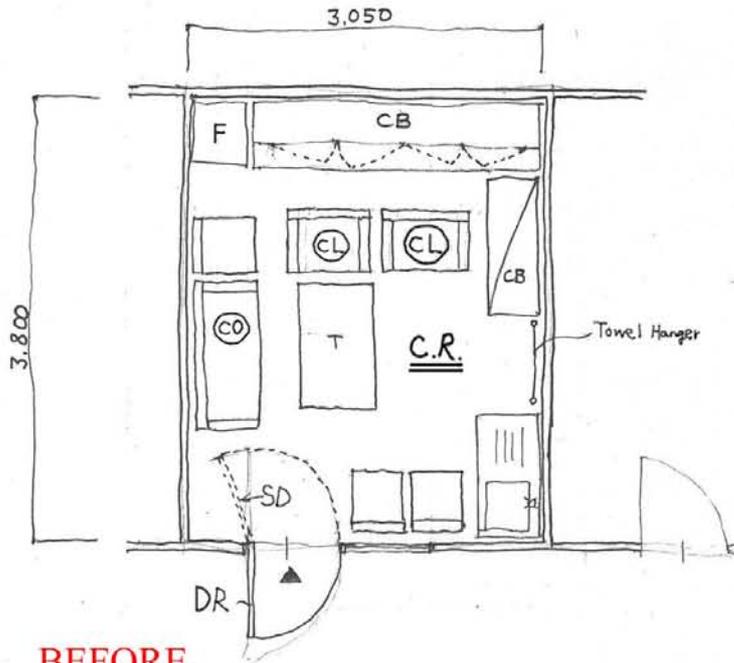
写真：クライアントの椅子の配置を換えたことで見えづらくなった。

Holy Family Hospital VCT, Nkawkaw



Site Plan

Holy Family Hospital VCT, Nkawkaw



LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- (CL): CLIENT CHAIR
- (CO): COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

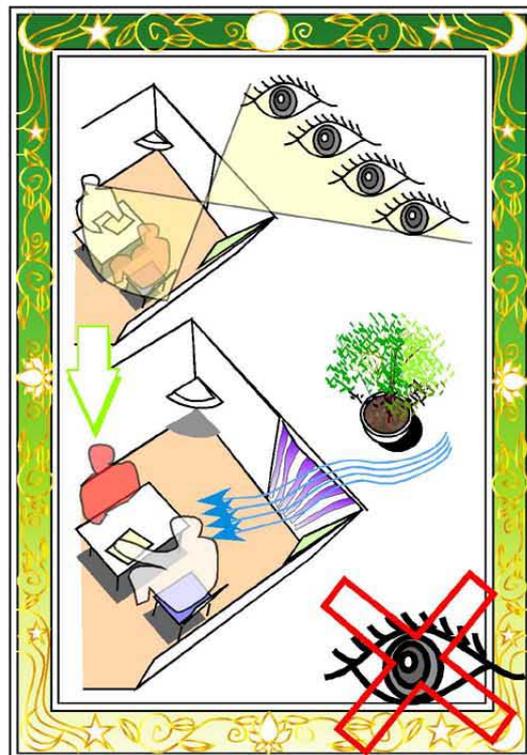
Plan

気付きカード(その4)

人目が怖い・・・・・・・・
こうしたらどうだろう？



ドアの開きかたの変更やプランターをつかって隠せます



家具の配置の変更やカーテンを使って隠せます



目隠し壁や
プランター
の利用



本棚を目隠し
に利用

■ サイト 10 Fanteakwa District Hospital, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 Type of Building : VCT: Detached
Location: Begoro, Fanteakwa

田舎町にある病院で、最近ドナーの援助により敷地内に新たな病棟が完成したため、古いほうの一部に VCT センターを設置した。平屋建てで切り妻屋根の建物は中廊下式の平面計画で、廊下を使用した待合室の奥にカウンセリング室がある。カウンセリング室：1ヶ所、待合室：1箇所。



VCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 21: タイプ 2-a : 曇りガラスによる「プライバシーの確保」

カウンセリング室 (CR) には、ジャロジー窓が設置されカーテンが掛けられている。ジャロジー窓の下半分が曇りガラスであれば、外からの視線を遮断でき、クライアントのプライバシーの確保がなされることから、助言を行った。(写真参照)。

■ 事例 22: タイプ 4-a : 病院の全体を知る「サインボードによる案内」

この病院では入口あたりに大きなサインボードによる病院案内が設置されている。見やすく明確な色使いで各施設の位置を地図上に示しているが、肝心の VCT センターの案内がない状態である。これからでもサインボードに書き足してもらえるといいと指摘した (写真参照)。



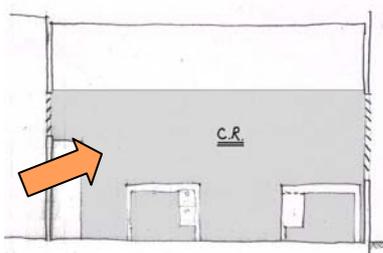
右：カウンセリング室 (CR) のジャロジー窓。カーテンを開けた状態では、外から見えてしまいます。

左：病院の内部の施設をすべて示したサインボード。

■ 事例 23: タイプ 6-a : 壁の色で「明るさと清潔感を！」

カウンセリング室 (CR) は明るくて清潔感のあることが望ましい。この病院のカウンセリング室は、床から 2メートルほどの高さまで壁が濃い灰色に塗られ、昼間でも照明なしでは暗い状態である。建設段階で暗い色に塗られた場合、改善策としては明るい色に塗り替えることしかない (図面・写真参照)。

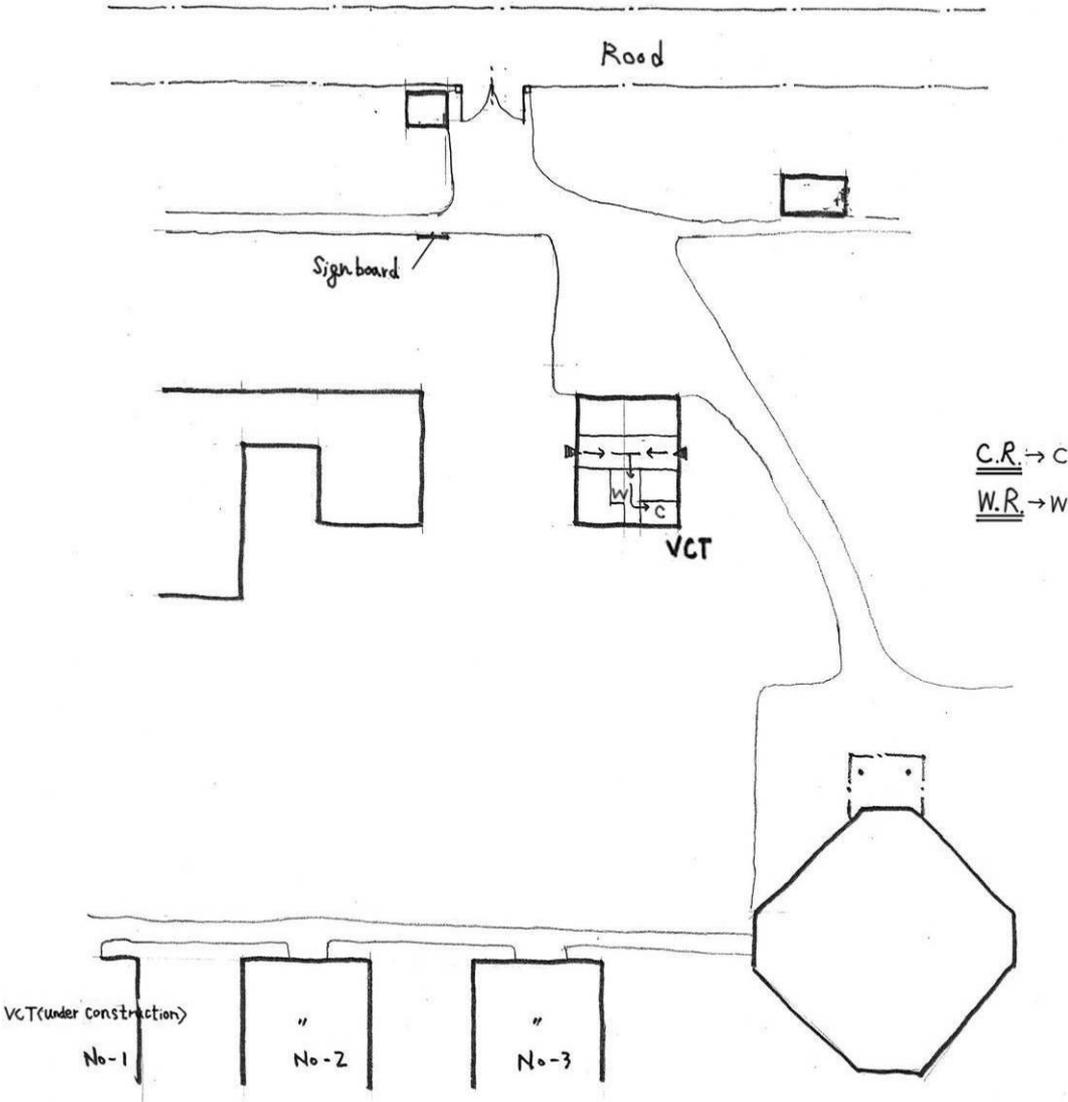
Photo Angle



図面：カウンセリング室 (CR) の断面図。

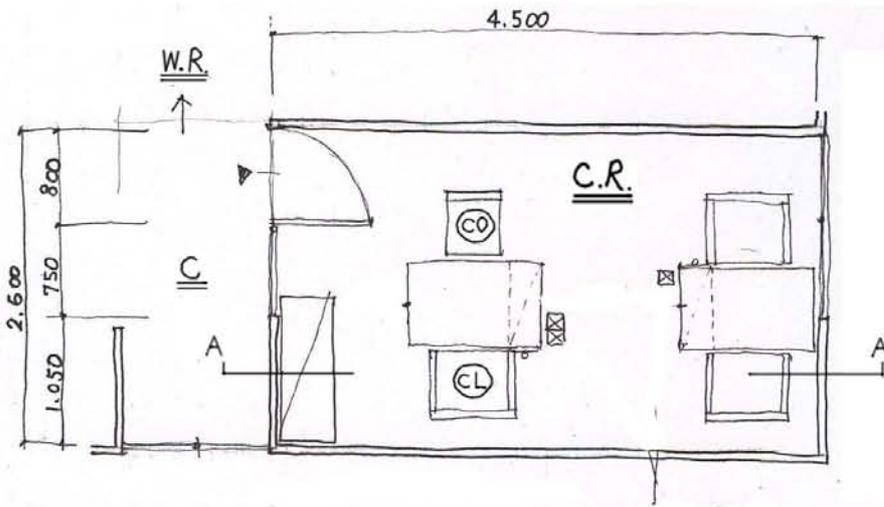
写真：カウンセリング室は、カーテンを開けても暗い。

Fantiakwa District Hospital VCT, Begoro

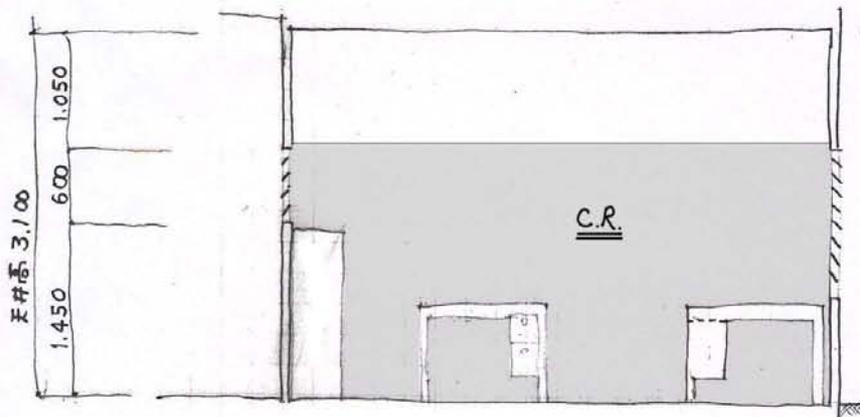


Site Plan

Fantiakwa District Hospital VCT, Begoro



Plan



A - A' Section

LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙CL: CLIENT CHAIR
- ⊙CO: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

■ サイト 11 Kade Health Center, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building :** VCT: Detached
Location: Kade, Kwaebibirem

田舎町にある診療所に設置された VCT センターで、待合室は廊下を使用し、他の目的で来院した人たちとも共有しているもの。ハイ・サイドライトが設けられたカウンセリング室へは、明るい光が注ぐようになっており、このデザインはイギリスの碑植民地国で 1950 年以降に流行したものである。(写真参照) カウンセリング室：1ヶ所、待合室：1ヶ所。



VCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 24: タイプ 1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

カウンセリング室 (CR) はとても清潔で日当たりもよく家具も整っているが、クライアントの顔の様子までドアの外から見える状態であった。クライアントとカウンセラーの椅子と机の位置を、テレビとソファの位置と入れ替えるという簡易な配置の変更で、効果的にクライアントのプライバシーを確保することを助言し、職員とともに改善を行った (写真・図面参照)。

Photo Angle

1

BEFORE

図面：カウンセリング室 (CR) の家具の配置変更前の平面図。

2

写真：カウンセリング室を 2 つの角度から見た様子。

1

AFTER

図面：カウンセリング室 (CR) の家具の配置変更後の平面図。

2

写真：椅子と机の配置をかえたことでクライアントは見えなくなった。

■事例 25: タイプ 2-a : 曇りガラスによる「プライバシーの確保」

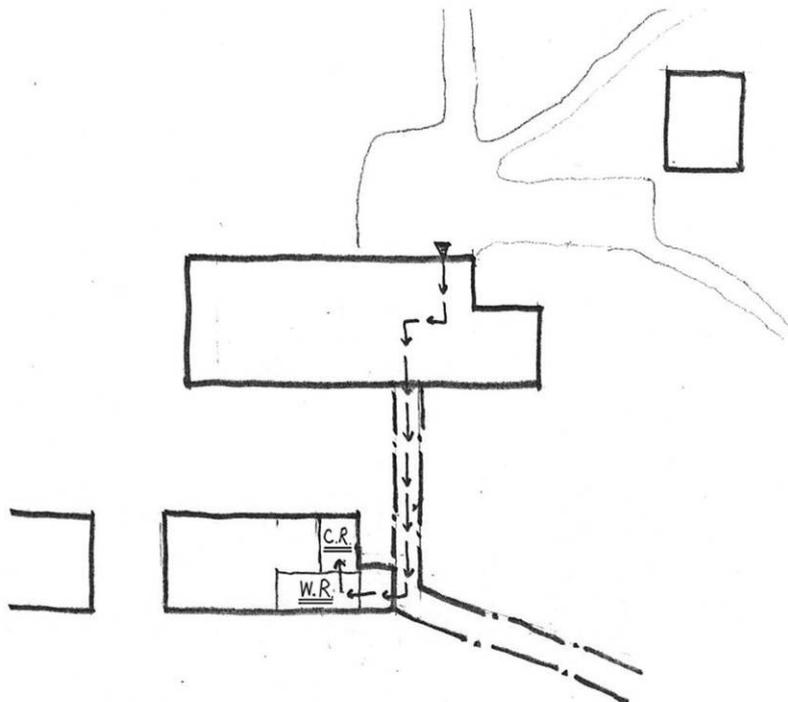
カウンセリング室（CR）には、ジャロジー窓が設置されカーテンが掛けられている。ジャロジー窓の下半分が曇りガラスであれば外から室内への視線を遮断できること、しっかりジャロジー窓を閉めると声ももれることを防げることが大切で、それがクライアントのプライバシーの確保につながることを説明し、改善を助言した。（写真参照）。



右：カウンセリング室（CR）のジャロジー窓。カーテンを開けた状態では、外から見えてしまいます。

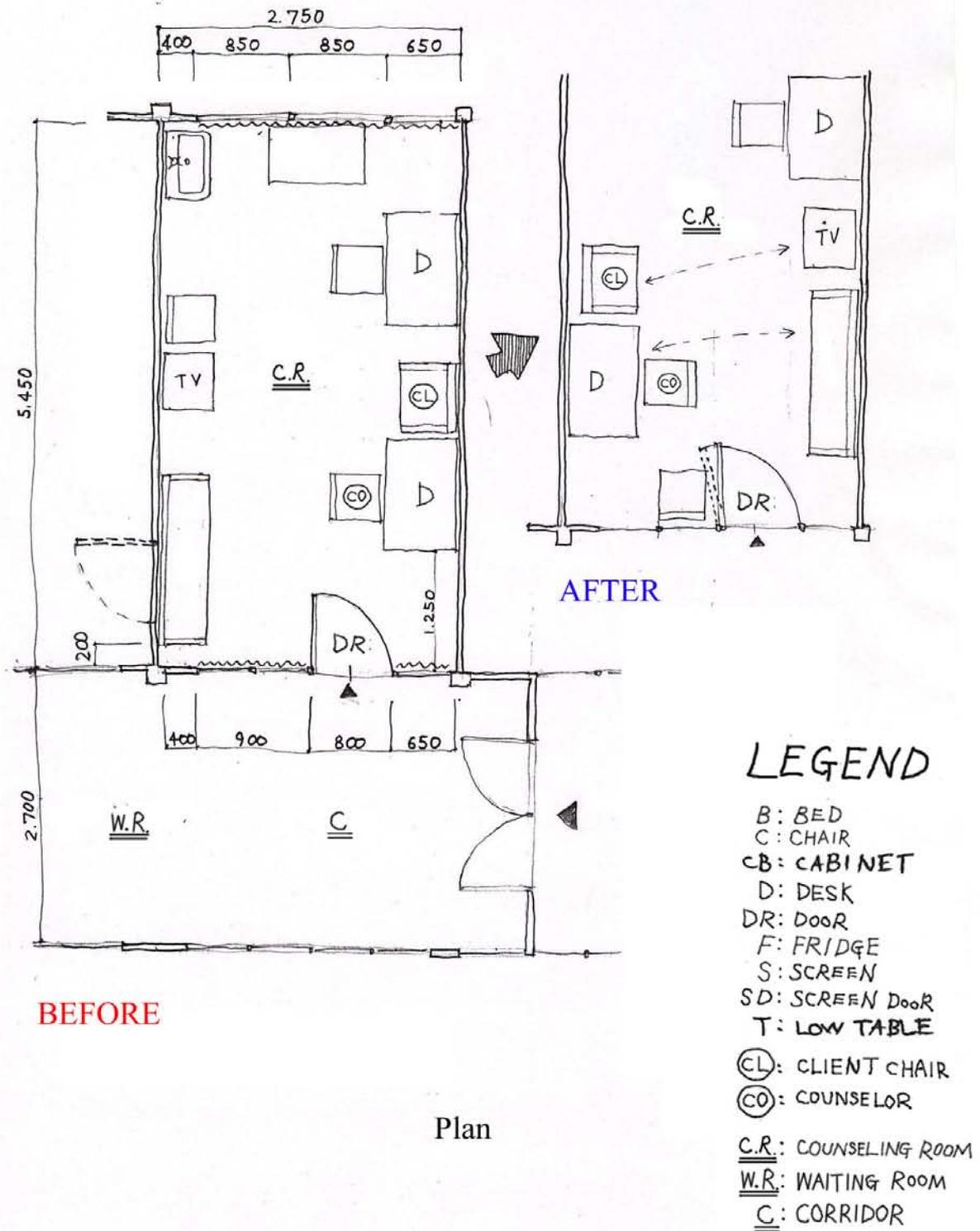
左：カウンセリング室へと光を注ぐ、ハイ・サイドライト。

Kade Health Center VCT, Kade



Site Plan

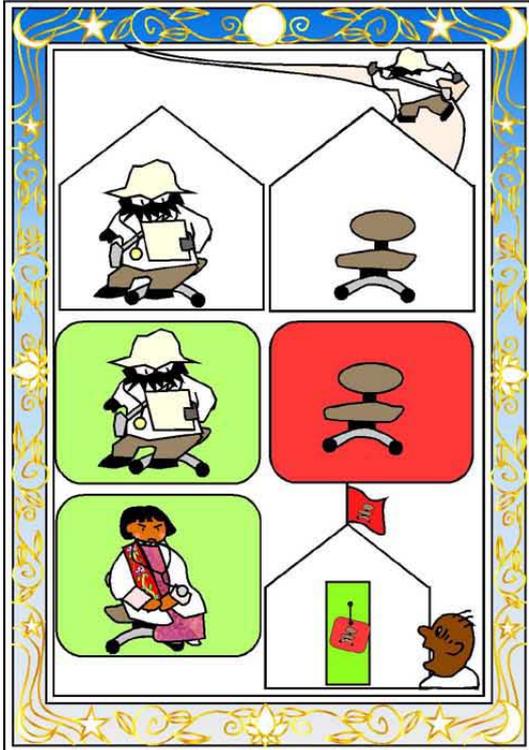
Kade Health Center VCT, Kade



Plan

気付きカード(その5)

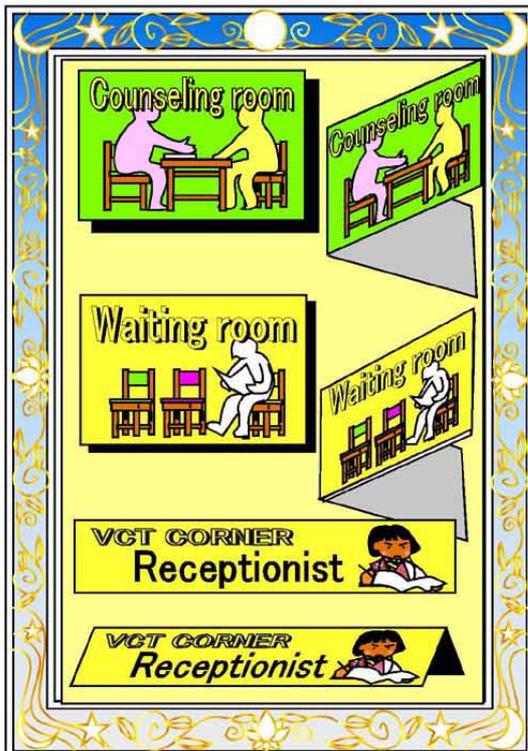
いつ行けば調べられるの？
何処の部屋に行けばいいの？



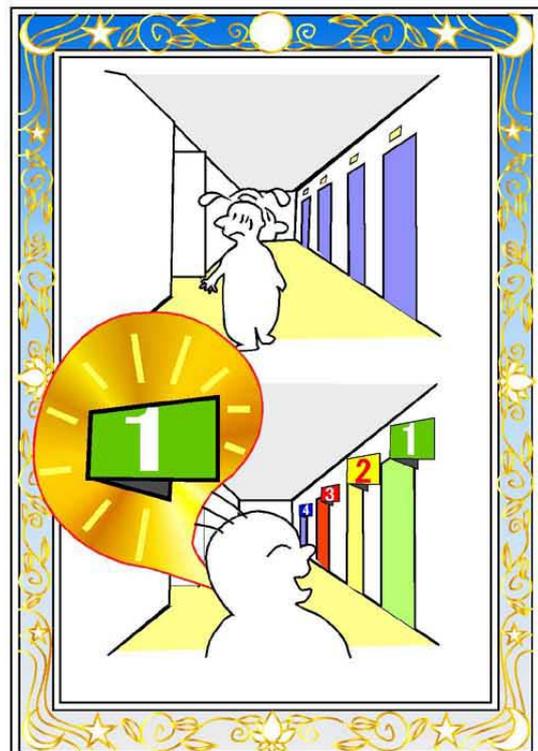
カウンセラーが居るのがサインボードでわかると便利です。



誰がカウンセリングしてくれるのかな？



どの部屋がカウンセリング室？
どこが待合室？



サインボードがあればすぐわかるね！

■ サイト 12 St. Domenic's Hospital, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 Type of Building : VCT: Detached
Location: Kade, Kwaebibirem

この病院の所有はキリスト教ミッション系で、職員は業務に関して非常に熱心である。VCT センターは病院の敷地内でも奥にある静かな場所に独立して建設され、環境的に良好な施設といえる。VCT センターには隣接した建物が無く、植栽などで覆われている部分もあり、クライアントのプライバシーの確保に対しての配慮が見られる。カウンセリング室：7ヶ所、待合室：5ヶ所。



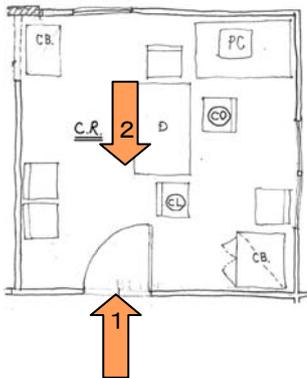
VCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 26: タイプ 1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

明るい色の内装のカウンセリング室（CR）は、清潔で日当たりもよく家具などの設備も整っているが、現状ではクライアントの横顔が外部の待合室（WR）から見えてしまう。既存のキャビネットを移動し、その場所にクライアントの椅子を持っていくことで、効果的にクライアントのプライバシーを確保することを助言し、VCT センターの職員とともに改善を行った（写真・図面参照）。

Photo Angle

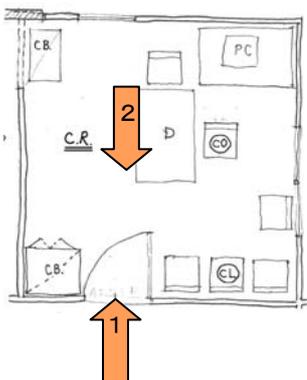


BEFORE

図面：カウンセリング室（CR）の家具の配置変更前の平面図。



写真：カウンセリング室を2つの角度から見た様子。



AFTER

図面：カウンセリング室（CR）の家具の配置変更後の平面図。



写真：クライアントの椅子とキャビネットを移動したことでクライアントは見えない。

■事例 27: タイプ 4-d : 使用しているのを知らせる「サインボードによる案内」

VCT センターのカウンセリング室 (CR) を使用しているのを知らせるサインボードをドアに掛けることで、待合室のクライアントやその他の人に対して、適切な案内がなされている。

■事例 28: タイプ 8-a : 情報を公開するポスターの「見やすい展示」

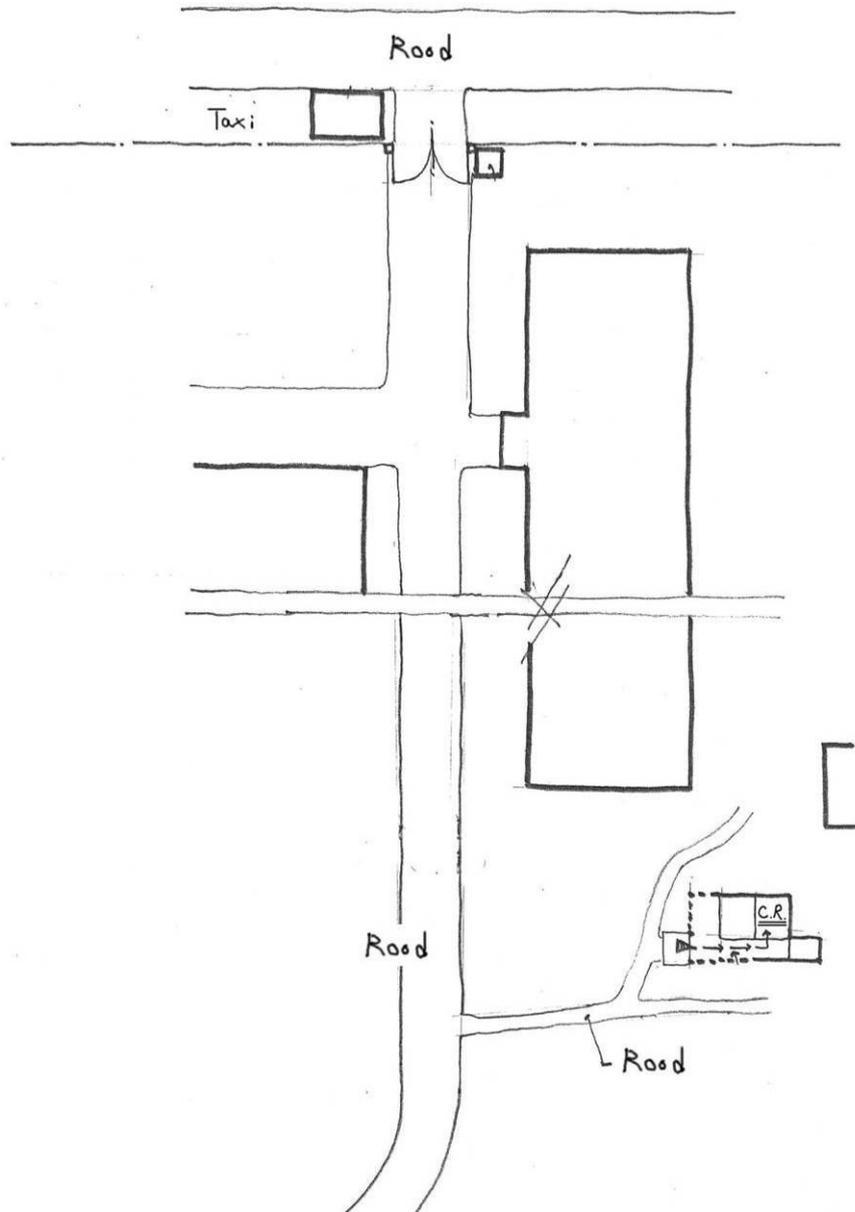
カウンセリング室 (CR) の内部には、クライアントに対してエイズに関する様々な情報を公開するポスターが、見やすいように展示されている。(写真参照)。



右 : カウンセリング室 (CR) の使用状況を知らせるサインボード。

左 : エイズに関する情報を展示したポスター。

St. Dominic's Hospital VCT, Kade

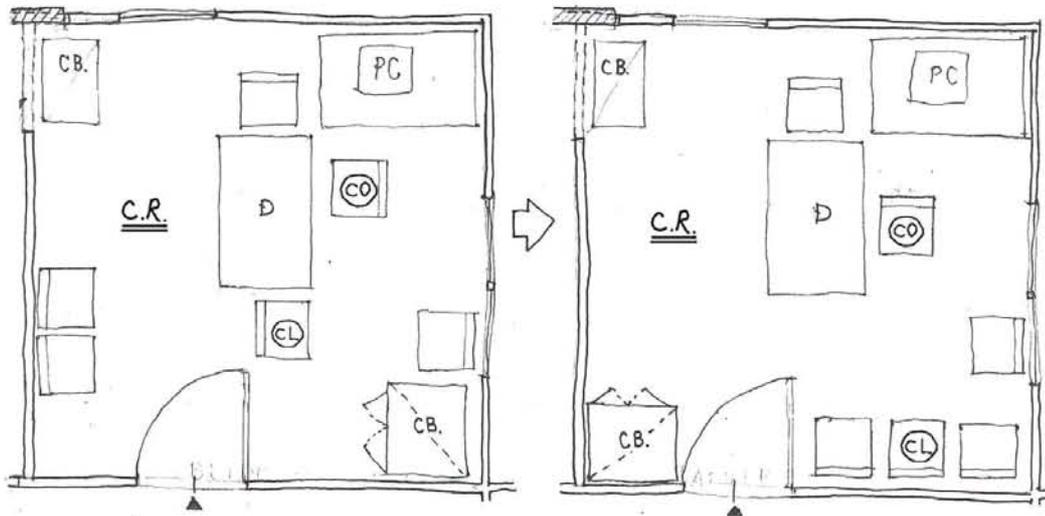
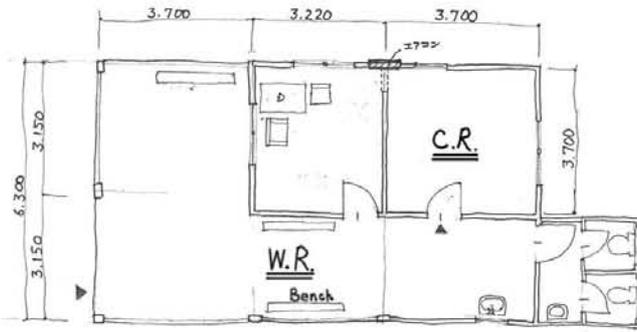


Site Plan

St. Dominic's Hospital VCT, Kade

LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙CL: CLIENT CHAIR
- ⊙CO: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C.: CORRIDOR



BEFORE

AFTER

Plan

■ サイト 13 New Abirim Health Center, VCT/PMTCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building** : VCT: Detached
Location: New Abirim, Brim North

田舎町にあるこの病院には、VCT センターと PMTCT センターの両方が存在するが、互いに離れた場所にある。VCT センターの受付と待合室は同じ空間にあり、外気に対して半分開放された状態で、クライアントのプライバシーの確保がやや難しいものとなっている。カウンセリング室：2 箇所、待合室：1 ヶ所。

また、PMTCT センターは、待合室はテラスの様なところに屋根を架けた半屋外空間となっている。ウンセリング室：3 ヶ所、待合室：1 ヶ所。



VCT センターの外観



PMTCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容 (VCT センターに対して)

■事例 26: タイプ 1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

白を基調とした内装のカウンセリング室 (CR-2) は、清潔で家具などの設備も整っているが、今の状況ではクライアントの横顔が外部の待合室 (WR) から見える。カウンセラーの椅子とクライアントの椅子の位置を入れ替えることで、ドアを開けた状態でもクライアントの姿はその待合室からは全く見えないようになるので VCT センターの職員にこのことを説明するとともに位置の変更を行った (写真・図面参照)。

Photo Angle

BEFORE

図面：カウンセリング室 (CR-2) の家具の配置変更前の平面図。

写真：カウンセリング室 (CR-2) の内部の様子。

AFTER

図面：カウンセリング室 (CR-2) の家具の配置変更後の平面図。

写真：クライアントの椅子とカウンセラーの椅子を入れ替えたことで、カウンセラーの姿か外の待合室からは見えなくなった。

■事例 29: タイプ 2-c : ジャロジー窓を閉めることで「プライバシーの確保」

カウンセリング室（CR-2）には、ジャロジー窓が設置されている。ジャロジー窓の下半分は曇りガラスであるが、開けっ放しの状態では、クライアントに対する外からの視線が遮断できずプライバシーの確保ができない。こうしたことに十分に配慮し、クライアントを診察するときは閉めることを助言した。（図面・写真参照）。



BEFORE

写真：カウンセリング室（CR-2）のジャロジー窓を開けた様子。

AFTER

写真：ジャロジー窓を閉めることで、外からの視線が遮断された。

■事例 30: タイプ 8-a : 情報を公開するポスターの「見やすい展示」

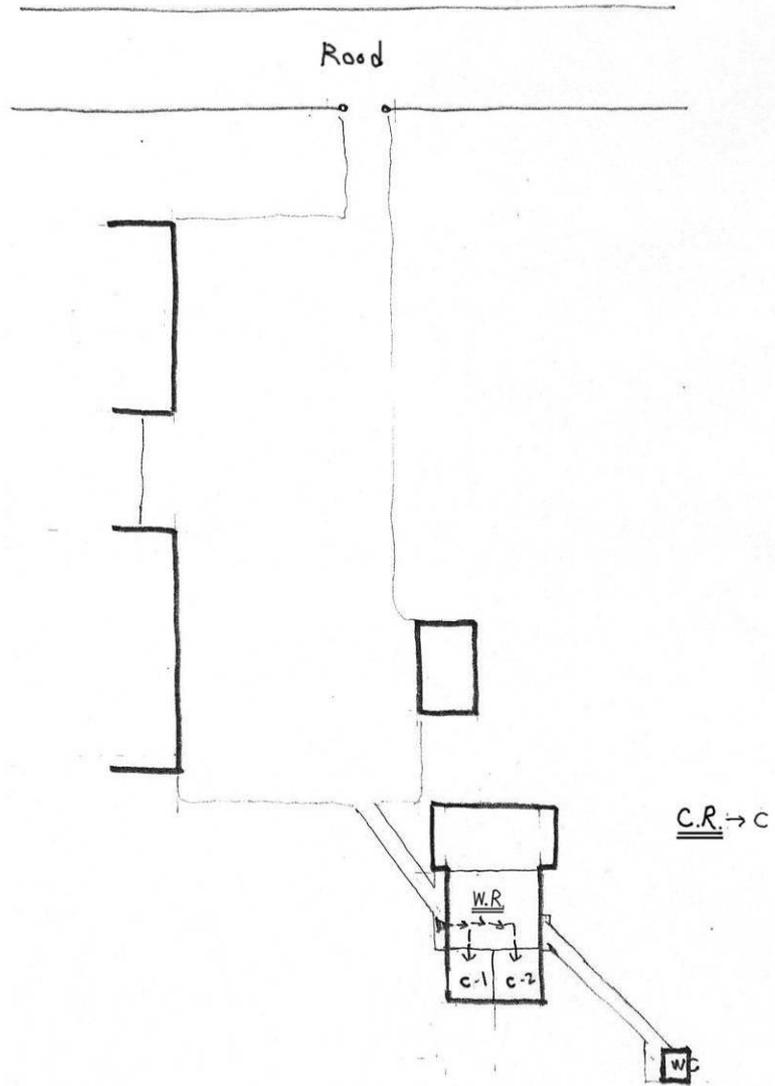
カウンセリング（CR-2）の壁には、クライアントに対してエイズに関する様々な情報を公開するポスターなどが展示されている。ポスターの展示方法が雑で見にくい場合は、クライアントに興味をもって見てももらうことはつながらない。この VCT センターの場合はカウンセリング室のボードには、資料が乱雑に貼られており、誰かに見てもらいたいという気持ちが全く感じられないほどひどい状況であった。その一方で、待合室（WR）の衝立に貼られたポスターは見やすいように貼られていた（平面図・写真参照）。



右：待合室（WR）の家具の配置変更前の平面図。

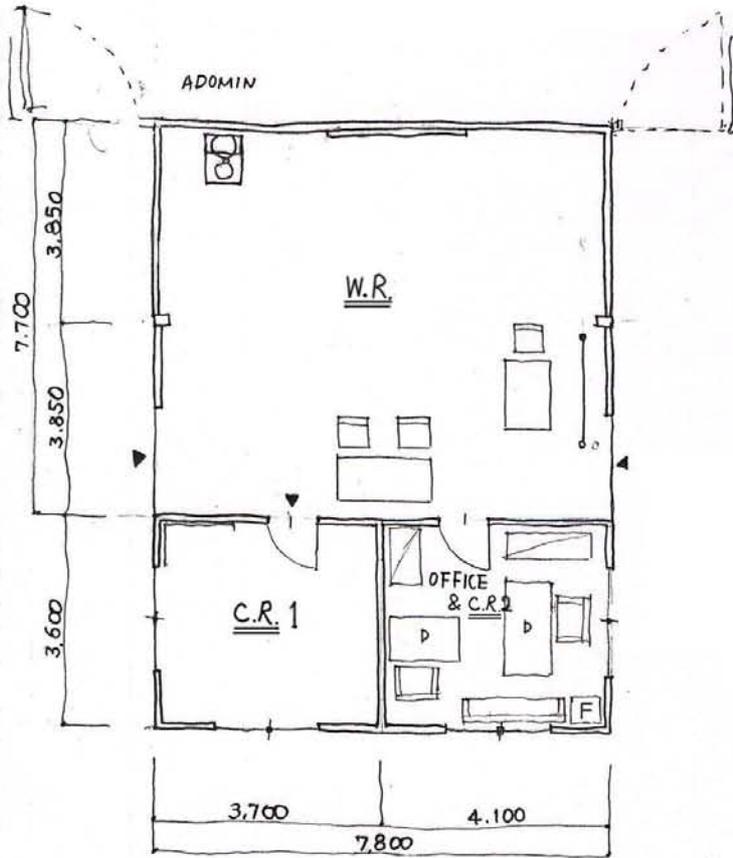
左：待合室を見た様子。ソファとテーブルによりカウンセリング室に行く通路が無い状態である。

New Abirim Health Center VCT, New Abirim



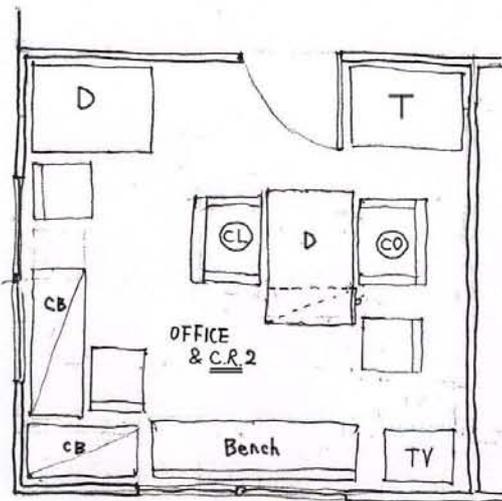
Site Plan

New Abirin Health Center VCT, New Abirin

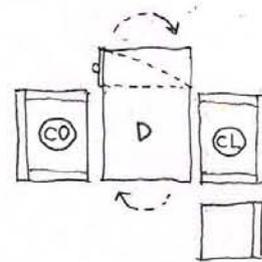


LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙CL: CLIENT CHAIR
- ⊙CO: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR



BEFORE



AFTER

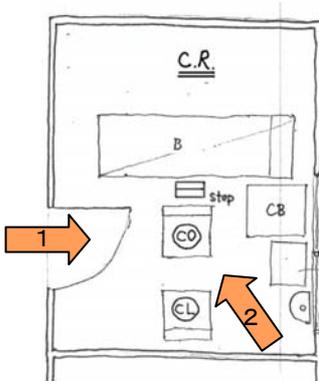
Plan

3 建築的所見での助言、改善内容（PMTCTセンターに対して）

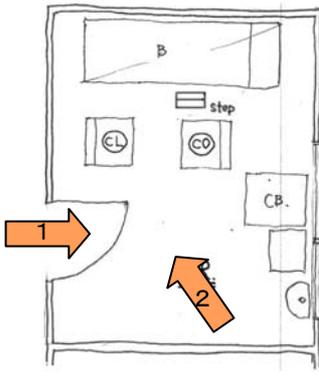
■事例 31: タイプ1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

カウンセリング室（CR）は、清潔で家具などの設備も整っているが、今の状況ではクライアントの横顔が外部の待合室（WR）から見える。カウンセラーの椅子とクライアントの椅子の位置を入れ替えることで、ドアを開けた状態でもクライアントの姿はその待合室からは全く見えないようになるので、PMTCTセンターの職員にこのことを説明するとともに位置の変更を行った（写真・図面参照）。

Photo Angle




BEFORE
 図面：カウンセリング室（CR）の家具の配置変更前の平面図。
 写真：カウンセリング室を2つの角度から見た様子。

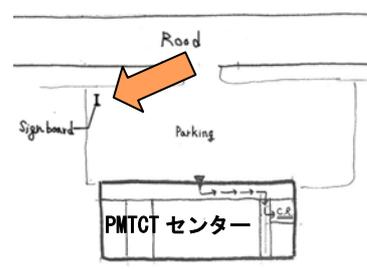



AFTER
 図面：カウンセリング室（CR）の家具の配置変更後の平面図。
 写真：クライアントとカウンセラーの椅子の配置を換えたことで見えなくなった。

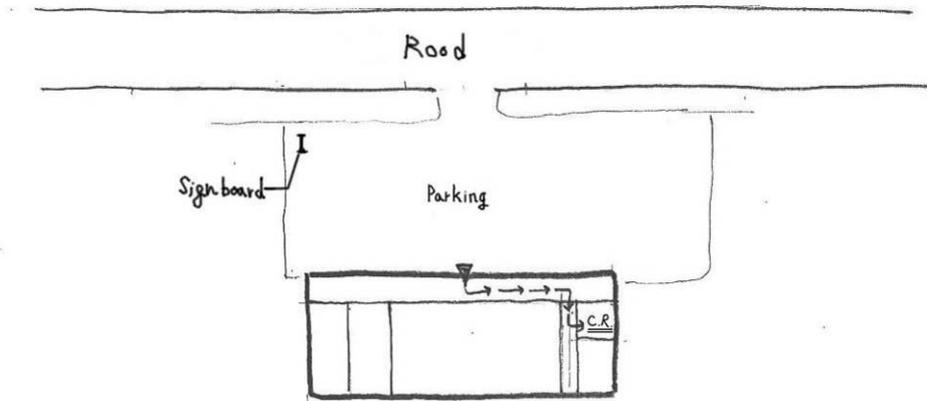
■事例 32: タイプ4-a : 病院の全体を知る「サインボードによる案内」

PMTCTセンターの場所を案内するものがなければ、クライアントは何処へ行っていいのか戸惑うとともに、誰かに場所を聞かなくてはいけない。この施設ではサインボードを目立つ場所に設置していることで、適切な情報案内がクライアントに提供されている（平面図・写真参照）。

Photo Angle

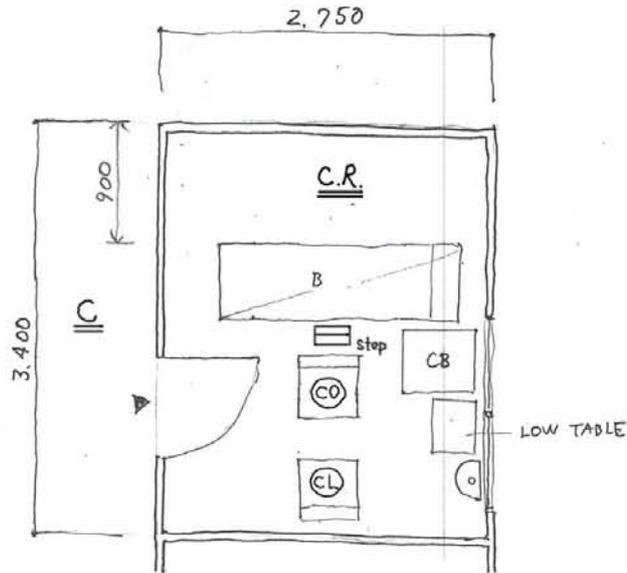



New Abirin Health Center PMTCT, New Abirin

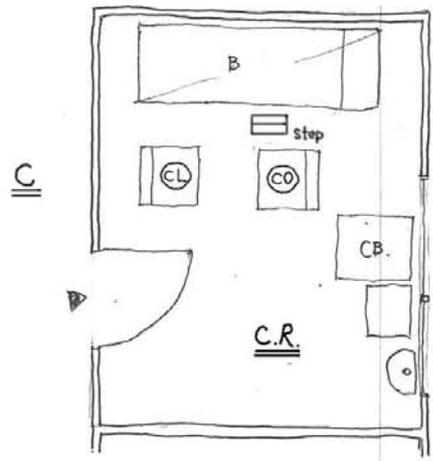


Site Plan

New Abirin Health Center PMTCT, New Abirin



BEFORE



AFTER

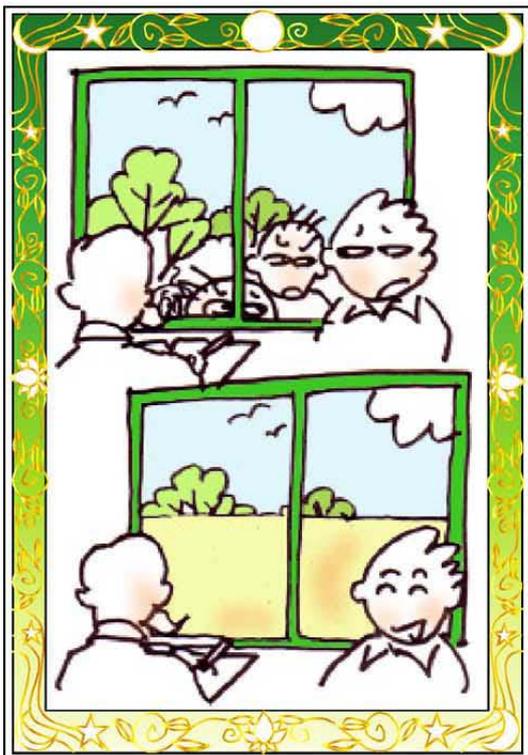
LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙CL: CLIENT CHAIR
- ⊙CO: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

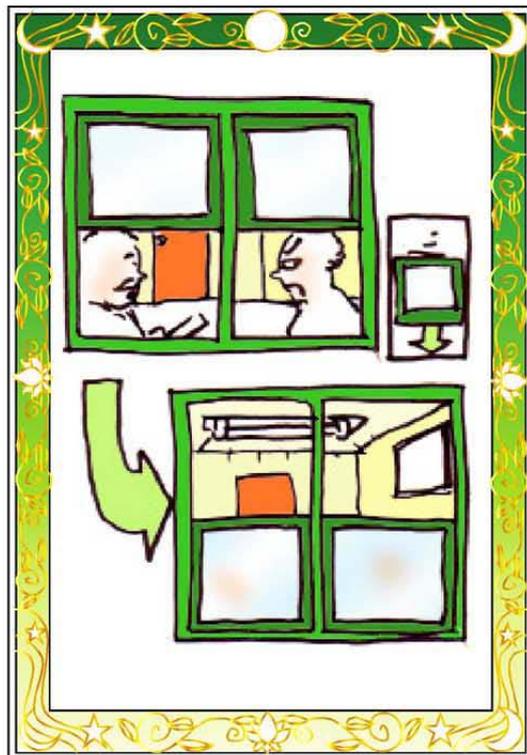
Plan

気付きカード(その6)

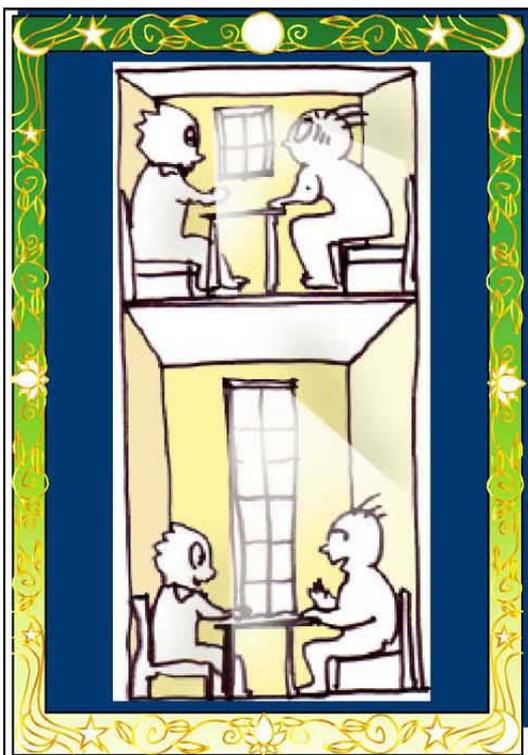
プライバシーって守られているの？
施設は快適なの？ (1)



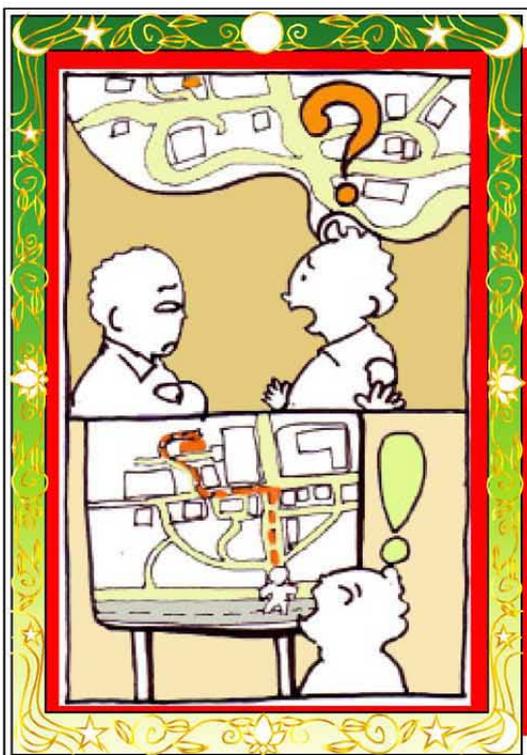
窓のそとからみられているよ～！



曇りガラスにすれば見えなくなるね!



光が入らず部屋が暗いと気分が悪いよ！



人に聞かなくても場所は解るの？

■ サイト 14 Asuogyaman District, VCT/Community Clinic, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building** : VCT: Detached
Location: Atimpok, Asuogyaman C.C.VCT:Detached

田舎町の主要幹線道路から、脇道を少し入ったところにあるこの施設には、VCTセンターが存在するが、さらに50Mくらい離れた場所にある建物をCommunity ClinicのVCTセンターとして現在改装中である(以前、薬局として使用されていた建物をVCTセンターにコンバージョンしている)。VCTセンターの外壁に棟の案内とエイズのシンボルマークの記入があり、かなり離れた場所からでもその位置が確認できる。ウンセリング室:1ヶ所、待合室:1ヶ所。また、改装中のVCTセンターに対しては、家具のレイアウトやドアの配置などに関して計画を確認し助言を行った。



VCTセンターの外観



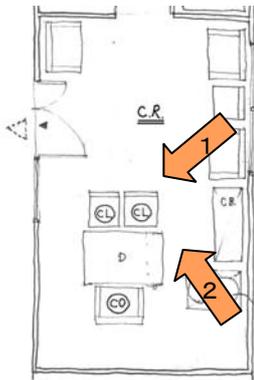
Community Clinic 改装中の VCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容 (VCTセンターに対して)

■事例 33: タイプ 1-a : 家具の配置替えによる「プライバシーの確保」

カウンセリング室 (CR) は、とても清潔で明るく家具などの設備も整っている。今の状況でも大きな問題はないと考えられたが、ジャロジー窓が開いた状態でクライアントの横顔が少しだけ外から見えるのが気になったため、クライアントとカウンセラーの椅子と机を90度回転させることで、このことが解消されることを職員に説明し、その結果の変更を行った(写真・図面参照)。

Photo Angle

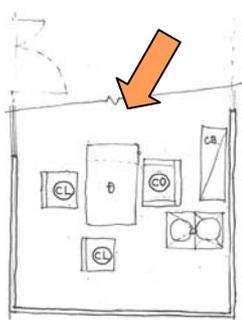


BEFORE

図面: カウンセリング室 (CR) の家具の配置変更前の平面図。



写真: カウンセリング室を2つの角度から見た様子。



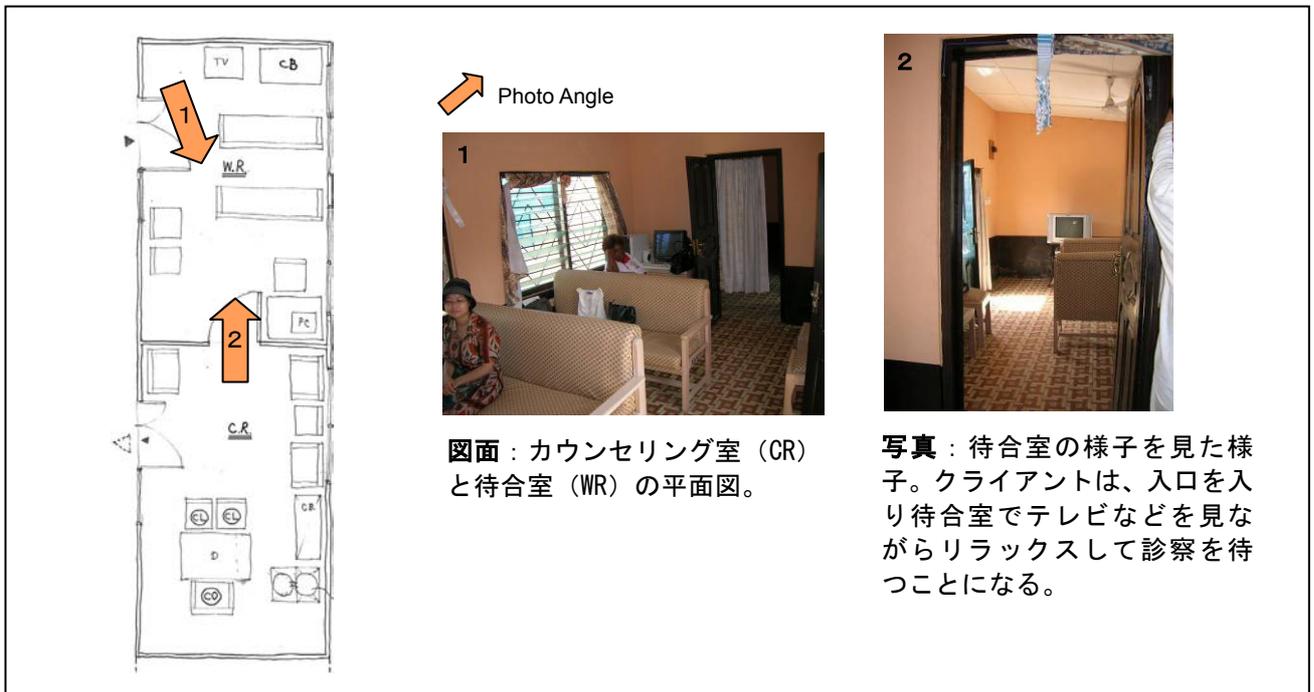
AFTER

図面: カウンセリング室 (CR) の家具の配置変更後の平面図。

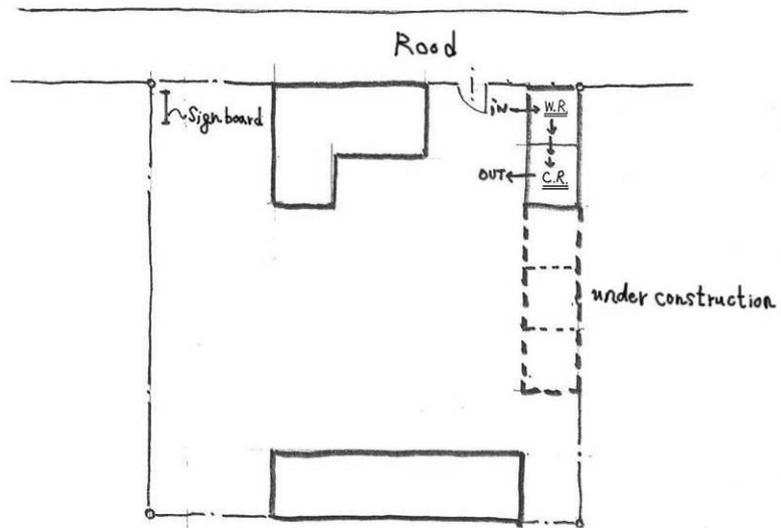
写真: クライアントとカウンセラーの椅子の配置を換えたことで出口のドアの外からは陰になり見えなくなった。

■事例 34: タイプ 7-a : 入口から出口までの一方通行による「プライバシーの確保」

待合室 (WR) からカウンセリング室 (CR) で診察を受けた後に、待合室に戻らなくても外に出て帰路につけるような平面計画になっている。診察後のクライアントの様子を、待合室にいる他のクライアントに見られないように動線が計画された理想的な施設である。(写真・図面参照)。

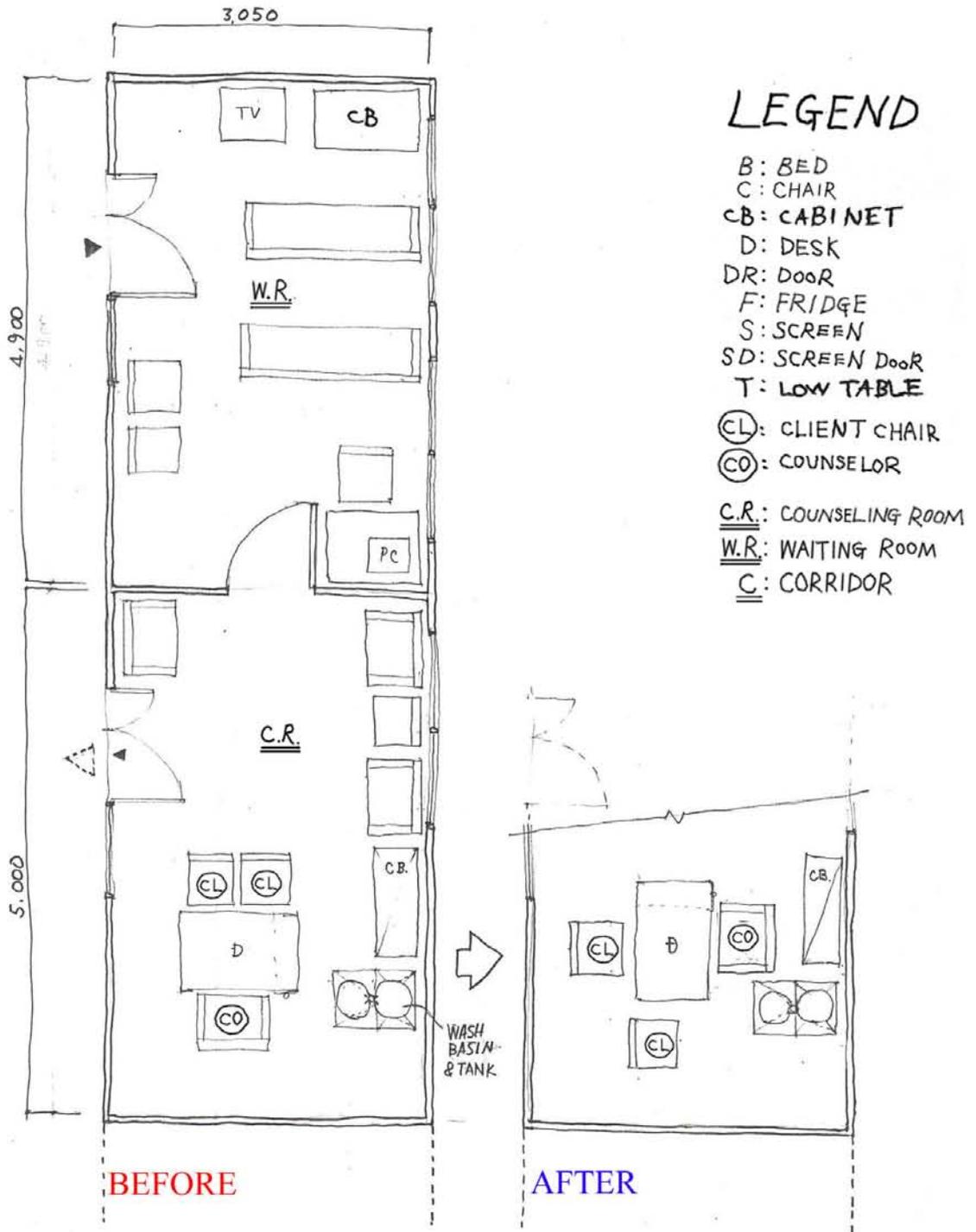


Asogyaman District VCT, Atimpok



Site Plan

Asogyaman District VCT, Atimpok

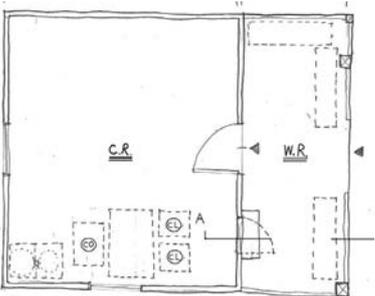


Plan

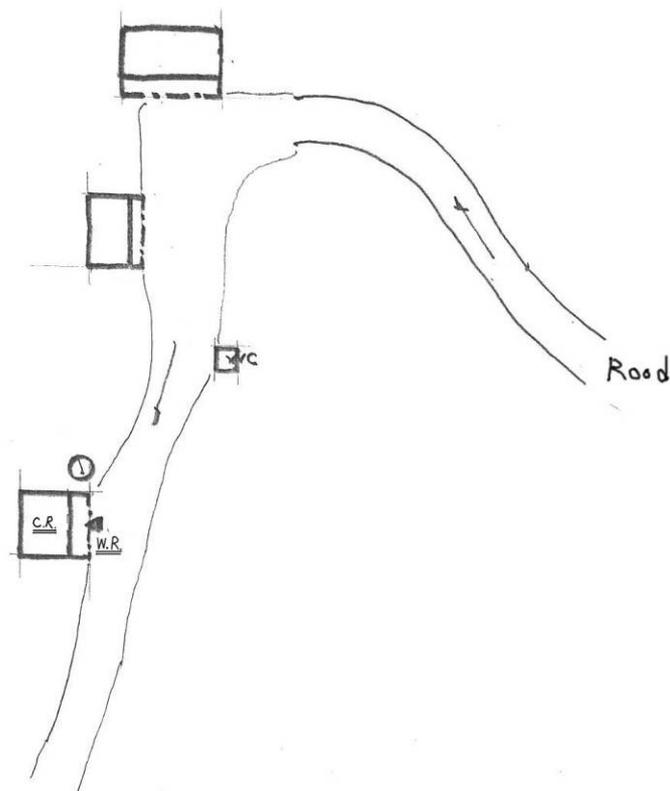
3 建築的所見での助言、改善内容（Community Clinic の VCT センターに対して）

■事例 35: タイプ 10-b : 「これから建設する施設」への計画的な助言

改装中の VCT センターに対して、その時点でできることを現場で図面を見ながら建設業者や病院関係者に助言することで、完成後の VCT センターが少しでもクライアントにとって快適なものになるのであれば、大きな成果といえる。今回は、カウンセリング室（CR）の机や椅子の配置を図面上にスケッチして渡すことを実施した（図面・写真参照）。

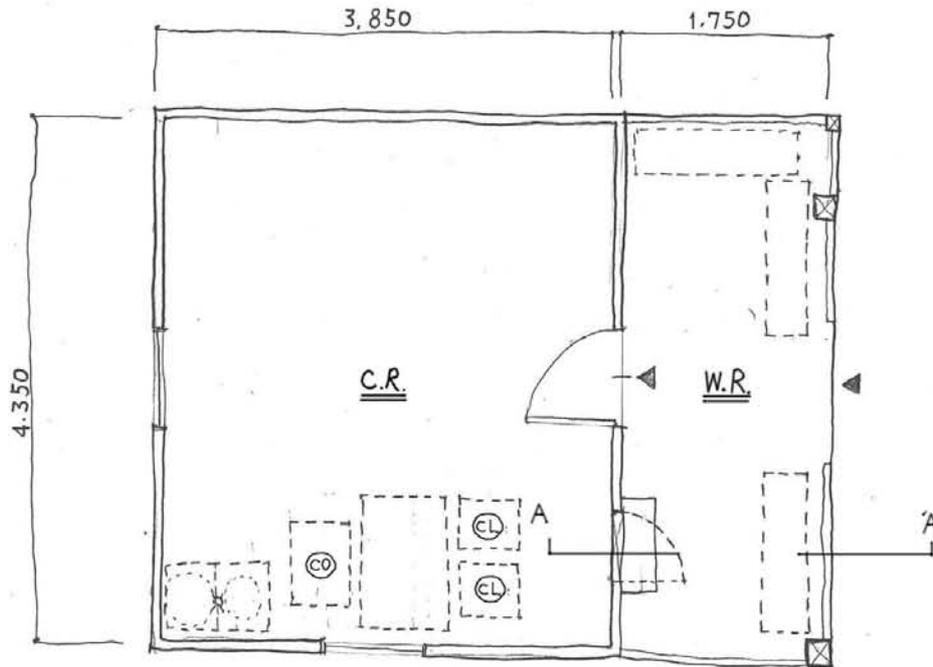
		
<p>図面：改装後の VCT センターのカウンセリング室（CR）と待合室（WR）の平面図。</p>	<p>写真：改装の様子と家具の配置に関しての支持をする様子。</p>	

Asogyaman District VCT, Atimpok (Proposal)

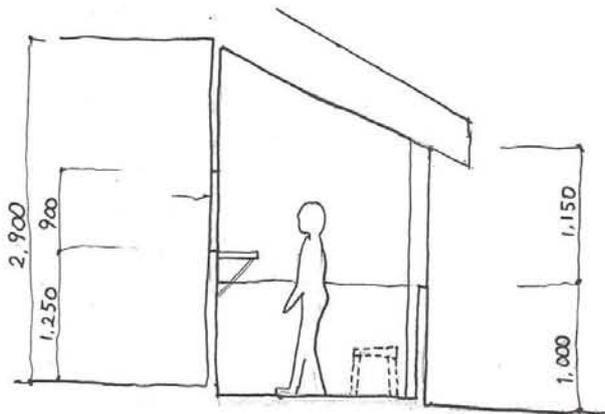


Site Plan

Asogyaman District VCT, Atimpok (Proposal)



Plan



A - A' Section

LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙CL: CLIENT CHAIR
- ⊙CO: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

■ サイト 15 Eastern Regional Hospital, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building :** VCT: Detached
Location: Koforidua, New Juaben Municipal

この病院は地域の中核病院として建設され、舗装された大きな通りに面している。VCT センターは比較的大きな病棟の影に隠れるように配置され、静かな場所に独立して建設され、環境的にとても良好な施設といえる。植栽などで覆われている部分もあり、クライアントのプライバシーの確保に対する配慮が見られる。カウンセリング室：3ヶ所、待合室：1ヶ所。

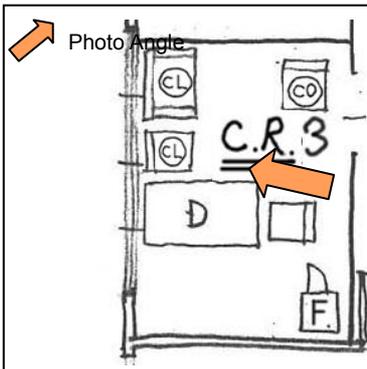


VCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 36: タイプ 6-b : カーテンの生地選びで「明るさと清潔感を！」

この病院のカウンセリング室（CR-3）はとても清潔感のあるものであったが、気になるのはカーテンの生地が厚く、診療の際にカーテンを閉めると、光が室内に入らないことである。こうした問題はカーテンの交換時に比較的容易に対処可能なことであるため、職員にこのことを説明した（図面・写真参照）。

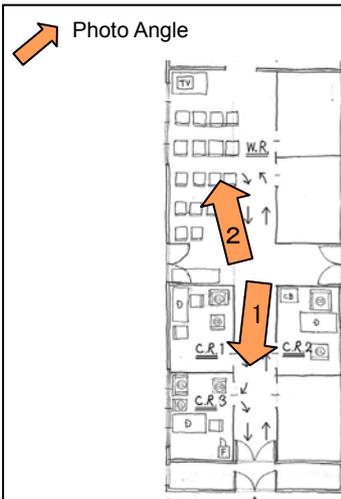


図面：カウンセリング室（CR-3）の平面図。

写真：カウンセリング室は、カーテンを閉めると急に暗くなる。

■ 事例 37: タイプ 7-b : 待合室が奥にあることで可能な「プライバシーの確保」

3つのカウンセリング室（CR-1, CR-2, CR-3）で診察を受けた後に、待合室（WR）に戻らなくても外に出て帰路につけるような動線になっている。それはカウンセリング室の奥に待合室を計画することで可能となり、クライアントのプライバシーの確保に配慮された平面計画といえる。こうした建物を普及させることができれば、有意義である（写真・図面参照）。

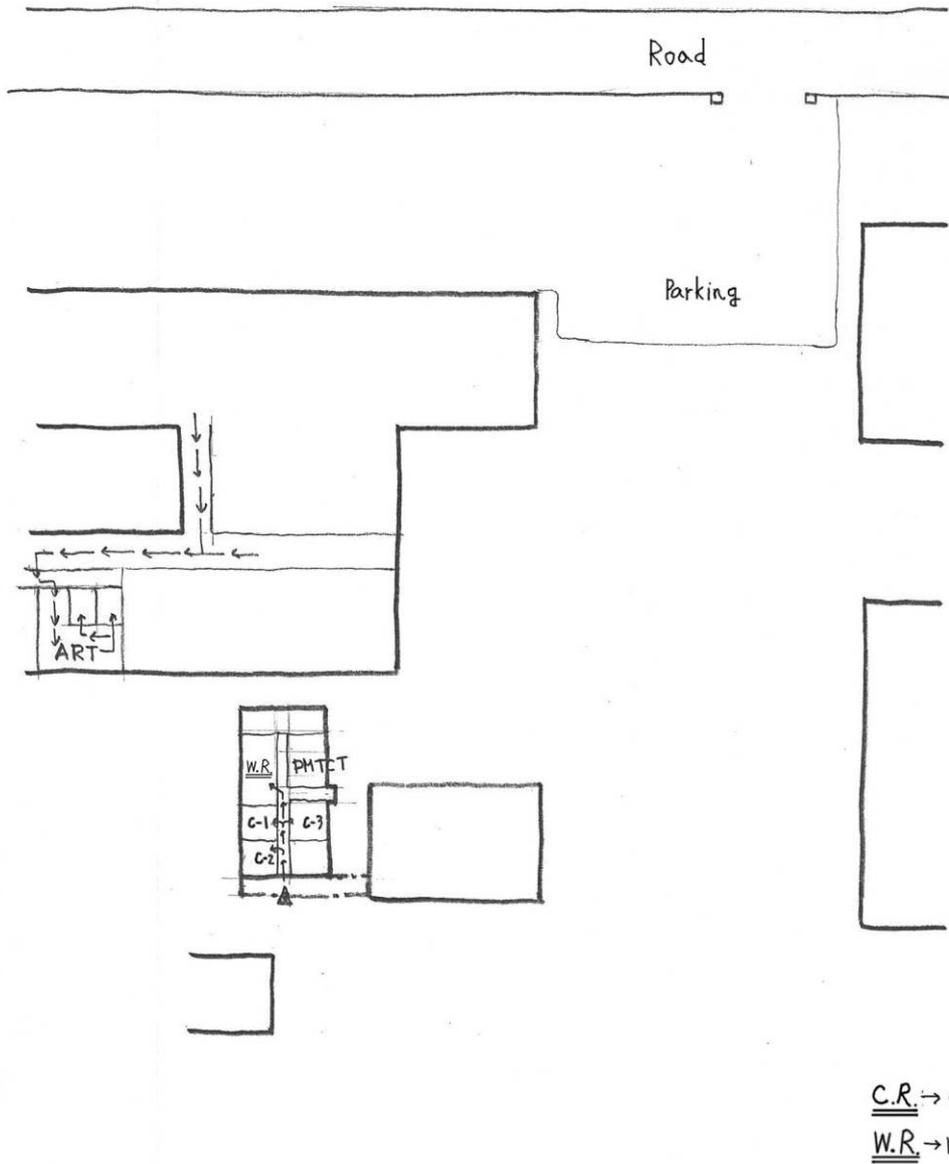


図面：カウンセリング室（CR）と待合室（WR）の平面図。



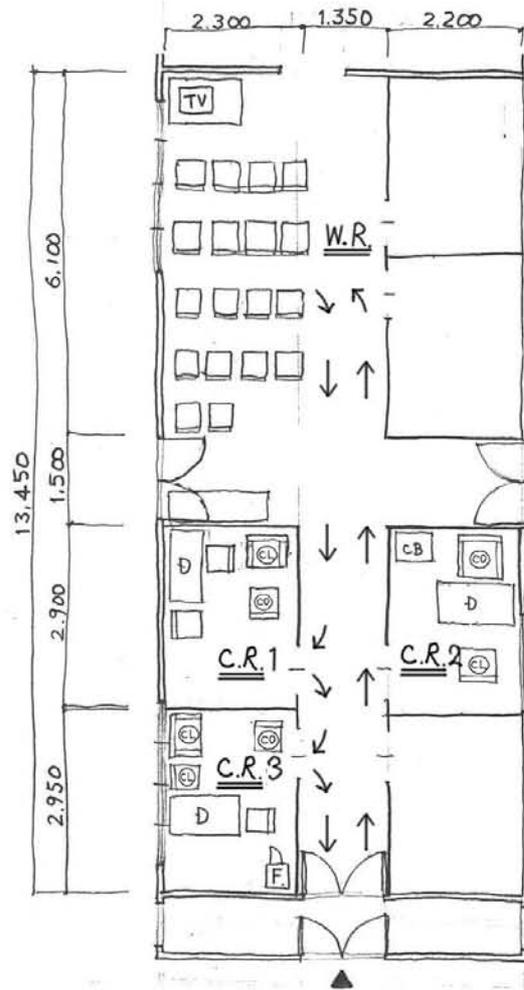
写真：待合室の様子を見た様子。クライアントは、入口からカウンセリング室を一度通過して奥にある待合室で奥方向に顔を向けて待つ。

Eastern Regional Hospital VCT, Koforidua



Site Plan

Eastern Regional Hospital VCT, Koforidua



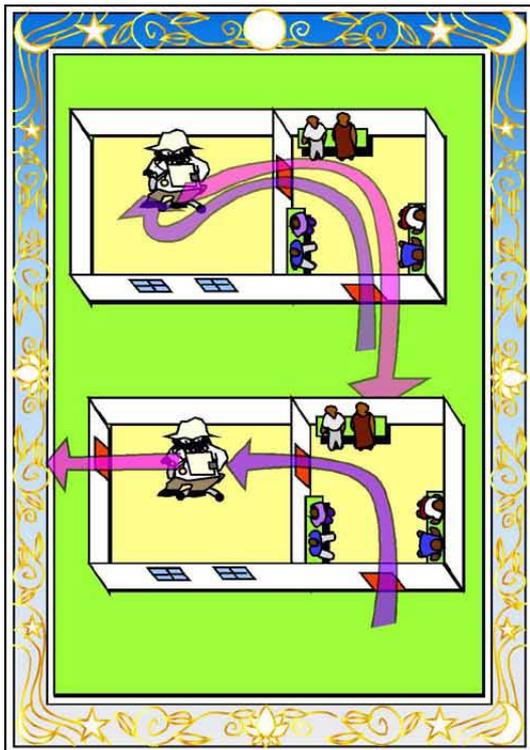
LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- ⊙CL: CLIENT CHAIR
- ⊙CO: COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

Plan

気付きカード(その7)

プライバシーって守られているの？
施設は快適なの？ (2)



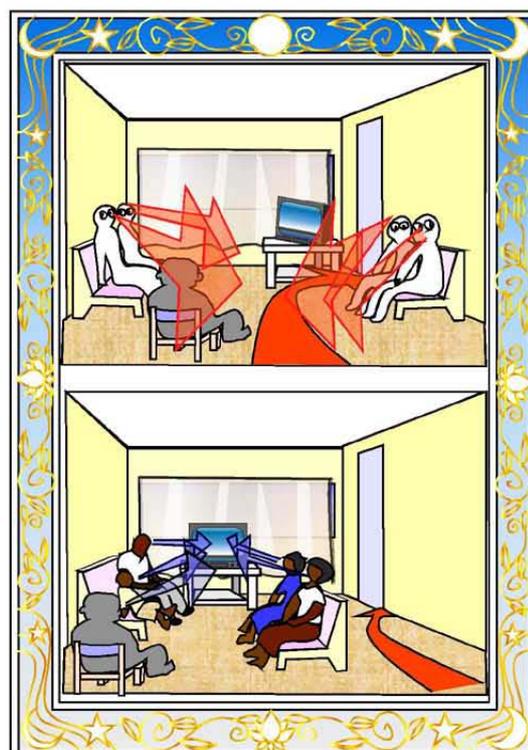
検査したら他の人に会わずに帰りたい！



壁の色が暗いと気分が悪いよ！



カーテンは明るい色がいいな～



待合室は広くて、呼ばれたらすんなり歩けるのがいいな～

■ サイト 16 Tetteh Quashie Memorial Hospital, VCT

1 概要

Date of Visit : March 2007 **Type of Building :** VCT: Complex
Location: Manpong, Akwapim North

この病院は非常に大きく、二車線の舗装道路沿いに建設され、入口付近にはタクシーの乗り場も設けられている。敷地内には大きな樹木が茂り、外来用の大きな駐車場も完備されている。VCT センターは病院の敷地内の4階建ての建物内の1階にあり、院内にはPMTCTセンターも設けられている（今回は調査対象外）。カウンセリング室：1ヶ所、待合室：1ヶ所。



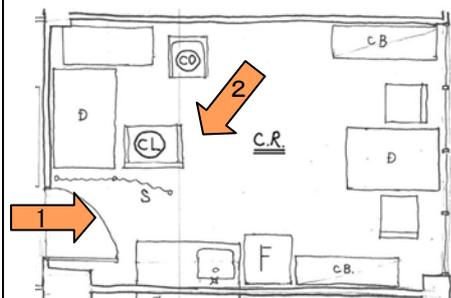
VCT センターの外観

2 建築的所見での助言、改善内容

■ 事例 38: タイプ 1-b :パーティションなどの利用による「クライアントのプライバシーの確保」

カウンセリング室 (CR) の中に医療用の衝立があることで、外の廊下 (C) からクライアントが診察しているのが見えないような空間構成になっている。カウンセリング室において移動式の衝立を使用することでクライアントのプライバシーの確保に対して配慮がなされている好例である (写真・図面参照)。

Photo Angle



図面：カウンセリング室 (CR) の平面図。



写真：カウンセリング室の様子。医療用の衝立により奥はみえない。



写真：カウンセリング室の内の様子。

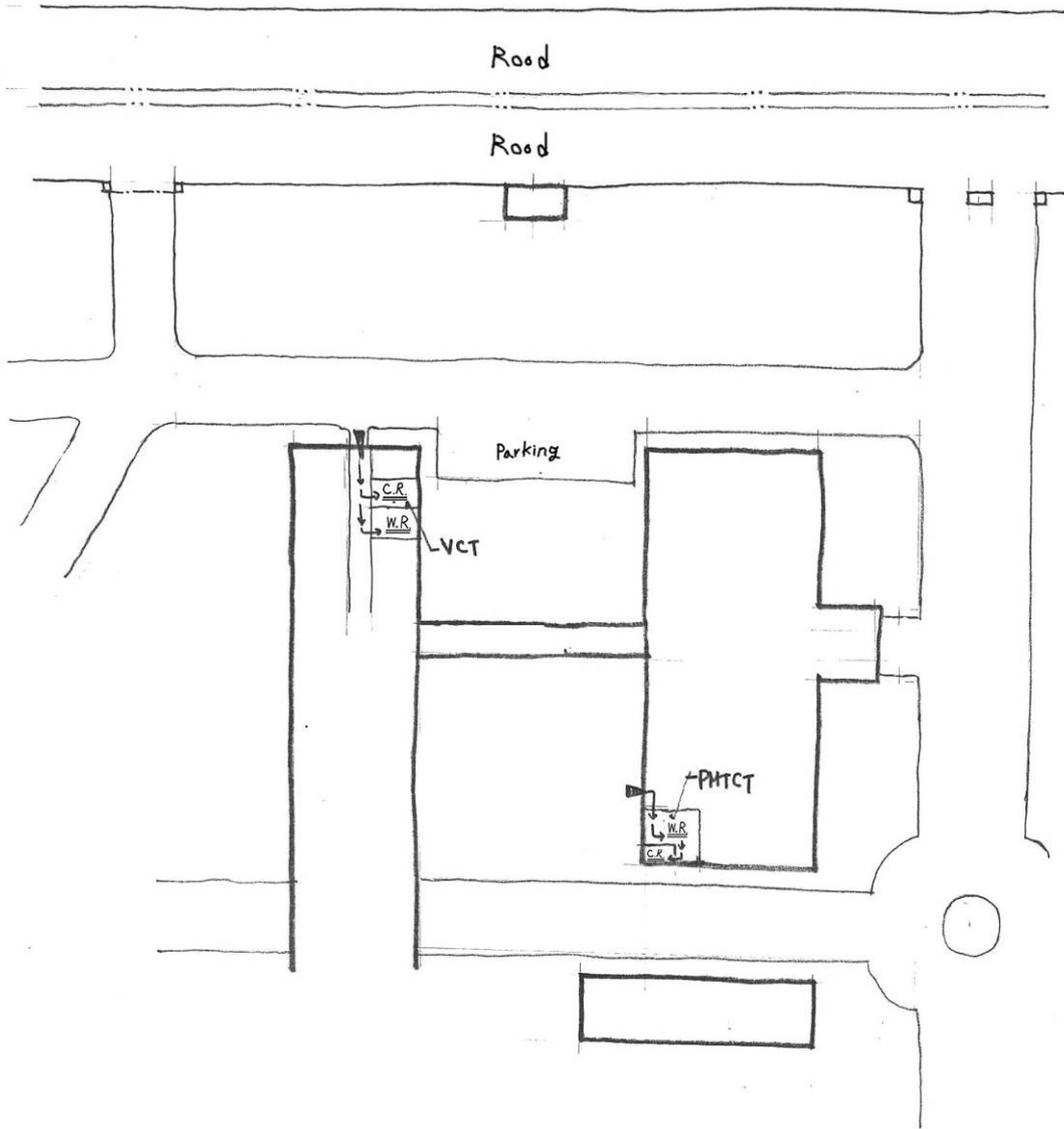
■ 事例 39: タイプ 4-d : 使用しているのを知らせる「サインボードによる案内」

VCT センターのカウンセリング室 (CR) を使用しているのを知らせるサインボードのサンプルとして良い事例といえ、カウンセラーが室内にいるのかどうかを簡単にわかるようになっている (写真参照)。



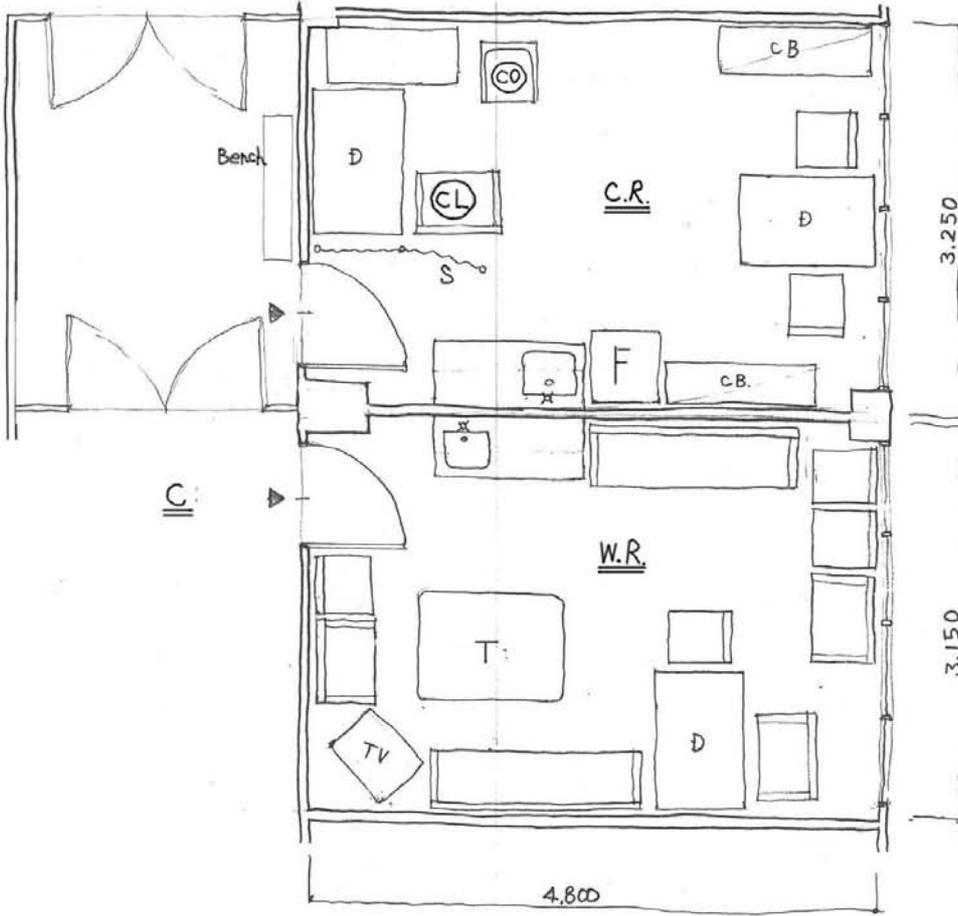
写真：2枚の写真で、カウンセリング室 (CR) の使用状況が的確にわかる。

Tetteh Quashie Memorial Hospital VCT, Manpong



Site Plan

Tetteh Quashine Memorial Hospital VCT, Manpong



Plan

LEGEND

- B: BED
- C: CHAIR
- CB: CABINET
- D: DESK
- DR: DOOR
- F: FRIDGE
- S: SCREEN
- SD: SCREEN DOOR
- T: LOW TABLE
- (CL): CLIENT CHAIR
- (CO): COUNSELOR
- C.R.: COUNSELING ROOM
- W.R.: WAITING ROOM
- C: CORRIDOR

